



ご使用のしおり

品番: SB-3000(R30、3 モーター)
SB-1000(R20、2 モーター)
SB-2000(R10、1 モーター・背上げ)
SB-F102(F02、1 モーター・昇降)

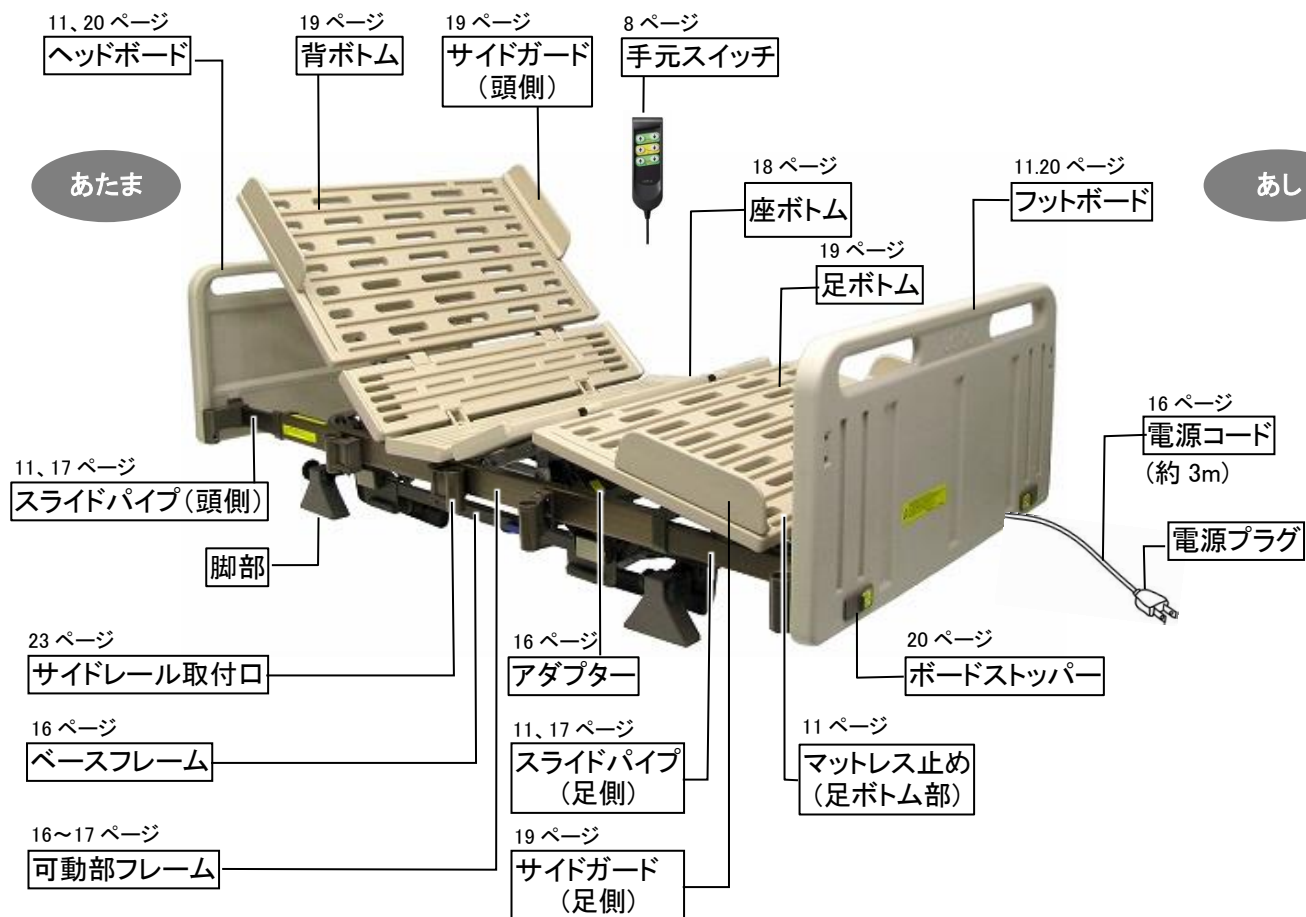
このたびは、弊社の『さわやか 爽 ベッド(3 モーター、2 モーター、1 モーター・背上げ、1 モーター・昇降)』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書はいつでも見られる場所に、必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
- ・お買い上げのベッドは改良などにより、この「ご使用のしおり」の内容と一部異なる場合があります。

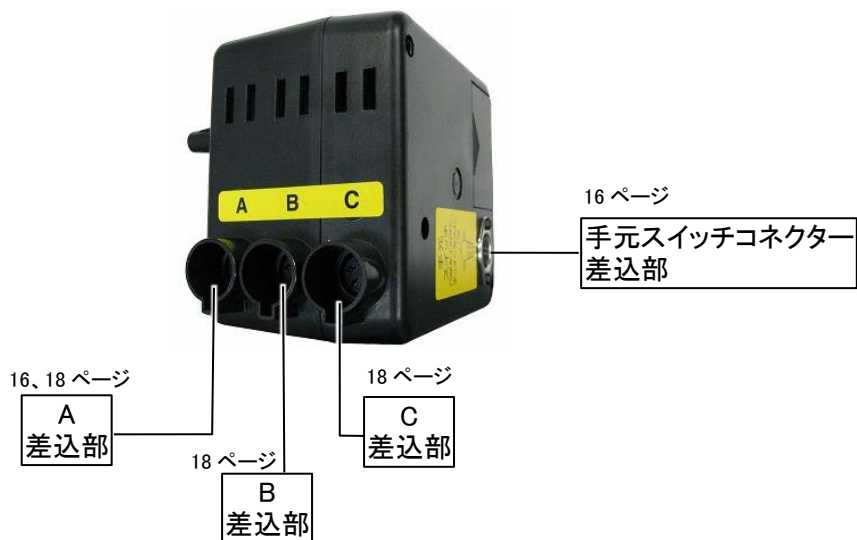
もくじ

①各部のなまえ	2
②安全上の注意事項	3～7
③手元スイッチについて	8
④ベッドの使用方法・動作方法	9～11
⑤背上げ膝上げ連動/連動解除の切替方法	12
⑥開梱と部品の確認	13～14
⑦ベッドの設置場所について	15
⑧ベッドの組立方法	16～20
⑨ベッドの組立後の点検	21
⑩マットレスの使用方法と注意	22
⑪オプションの取り付け	
1. サイドレール	23
2. キャスター	24
⑫モーターの変更	
1.2 モーターから 3 モーター	25～26
2.3 モーターから 2 モーター	27～28
⑬停電・故障時の手動による背下げ操作と戻し方	29～30
⑭ベッドの分解方法	31～35
⑮定期点検と日常のお手入れ・故障かな？と思ったら	36
⑯保管方法と移動方法	37
⑰仕様	38
保証書	

①各部のなまえ



アダプター



差込部	機種	機能
A	3 モーター・2 モーター・1 モーター・昇降	高さ
	1 モーター・背上げ	背上げ
B	3 モーター・2 モーター	背上げ
C	3 モーター	膝上げ

②安全上の注意事項

ご使用前に、必ずこの「安全上の注意事項」をよくお読みになり、正しくお使いください。

こちらの注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

■表示と絵表示について

表示内容を見逃し、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を見逃して誤った取り扱いをすると、人が軽症を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。
 感電注意	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な注意内容(左の図の場合は「感電注意」)が描かれています。
 分解禁止	Ⓢ記号は、禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容(左の図の場合は「分解禁止」)が描かれています。

警告シールについて



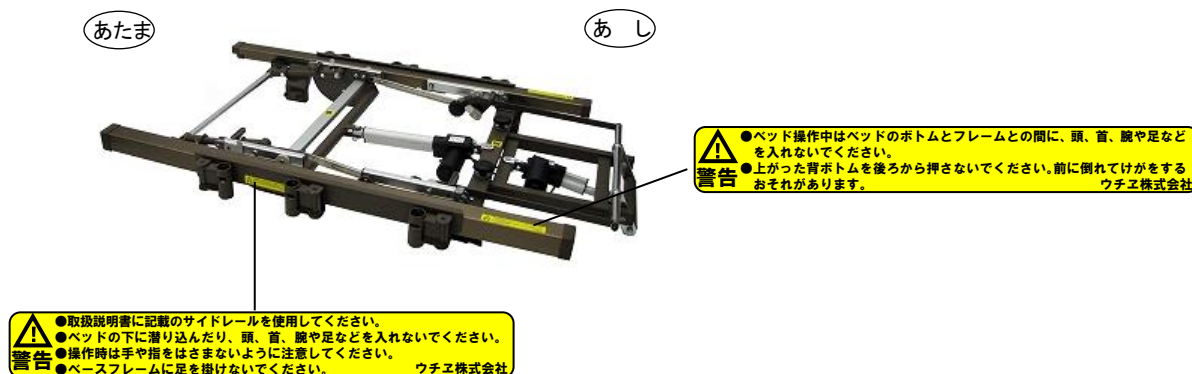
警告

- 頭、首、腕や足などをすきまに入れないでください。
- 頭、首、腕や足などをベッドから出して、背上げや高さの操作をしないでください。
- ベッドの下に潜り込んだり、頭、首、腕や足などを入れないでください。
- 操作時は手や指をはさまないように注意してください。
- ボードに寄りかかったり、腰掛けたりしないでください。
- 指定品以外のオプションをベッドに組み合わせないでください。

最大利用者体重:130kg ウチエ株式会社

ベッドをお使いの方に、特に注意していただきたいことをシールにして、ヘッド・フットボードの内側、可動部フレームの上面・側面に貼っています。

警告シールをはがしたり傷をつけないでください。万一警告シールが傷ついたりはがれた場合は、新しいシールを貼り直してください。





警告

●指定適合品以外の製品とは組み合わせないでください。

指定する適合品以外の製品と組み合わせると、意図せぬ隙間の発生や、けが、故障の原因となります。

●サイドレールやヘッド・フットボードのすきまに腕や足などが入らないように注意してください。

腕や足などが抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●サイドレールとヘッド・フットボードのすきまに首、腕や足などが入らないように注意してください。

首、腕や足などが抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●サイドレールとボトムやマットレスなどのすきまに頭、首、腕や足などが入らないように注意してください。

頭、首、腕や足などが抜けなくなり、けがをするおそれがあります。

●サイドレールから頭、首、腕や足などを出さないでください。

頭、首、腕や足などがベッド操作時にはさまれて、けがをするおそれがあります。

●身体の一部が隙間に入った状態でベッドの操作をしないでください。

隙間に入った状態でベッドの操作をすると、けがをするおそれがあります。

●サイドレールを取り付ける際は、取付口に異物が入っていないか確認してください。

異物が入っていると確実に取り付けができずにベッドから転落したり、意図せぬ隙間が発生し、身体の一部が挟まれてけがをするおそれがあります。

●サイドレール使用時でもベッドからの転落に注意してください。

- ・サイドレールとサイドレールのすきまから転落し、けがをするおそれがあります。
- ・サイドレールの上から身を乗り出して転落し、けがをするおそれがあります。
- ・背上げをした状態で使用をされる場合、ベッドからの転落に注意してください。
- ・特に体位を保持できない方には十分注意してください。

●マットレスからサイドレール上端までの高さは、22cm 以上確保してください。

寝返りや体位変換時に転落するおそれがあります。

●オプションは正しい向きで取り付けてください。

サイドレールなどのオプションを取り付ける際は各オプションの「取扱説明書」を参照し、正しい向きで取り付けてください。けがをするおそれがあります。

●仰向け以外(うつぶせや横向き)で寝た状態で、背上げや膝上げ操作をしないでください。

無理な姿勢となり、けがをするおそれがあります。

●ベッドは正しい向きで使用してください。

頭側・足側の向きを確認してください。背上げ、膝上げした状態で逆に寝たり、逆に寝た状態で背上げや膝上げ操作をすると、けがをするおそれがあります。

●ベースフレームに足を掛けしないでください。

ベースフレームに足を掛けたり、足を入れたりしないでください。可動部にはさまれてけがをするおそれがあります。

●ベッドの下に潜り込んだり、頭、首、手指や足などを入れないでください。

ベッドの可動部、フレームやサイドレールとの間に頭、首、手指や足などをはさまれてけがをするおそれがあります。ベッド周辺に障害物が無いか確認してから、ベッドの操作をしてください。

●ベッド操作中はベッドのボトム(背・座・足ボトム)と可動部フレームの間に、頭、首、手指や足などを入れないでください。

ボトム(背・座・足)と可動部フレームの間にはさまれて、けがをするおそれがあります。

●ベッドを操作する場合は、ご利用者の状態に注意してください。

背上げや高さ調節中にご利用者が動かれると、ベッドから転落したり、すきまにはさまれてけがをするおそれがあります。体位を保持できない方は介護者が身体を支えながら操作してください。

警 告

- **ベッドから離れる場合は、ボトム の角度やベッドの高さに注意してください。**
介護者がベッドから離れる場合は、ご利用者のベッドからの転落に備えてボトム の角度を水平にし、ベッドを一番低い高さにしてください。
- **子供や幼児、操作が理解できないと思われる方にベッド操作をさせないでください。**
子供や幼児、操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチを操作した場合、思わぬけがをするおそれがあります。手元スイッチに触れる可能性がある場合には、電源プラグを抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。
- **上がっているボトム（背・座・足）に寄りかからないでください。特に背ボトムを足側には押さないでください。**
ボトム の支持部が破損、変形するおそれがあります。また、背ボトムは安全上、フリーホイールになっており、不意に背ボトムが動いてけがをするおそれがあります。
- **サイドレールやヘッド・フットボードに腰掛けしないでください。**
ベッドから転落・転倒してけがをするおそれがあります。また、サイドレールやヘッド・フットボード、ベッドなどが変形、破損してけがをするおそれがあります。
- **ヘッド・フットボードに過度な荷重をかけないでください。**
ヘッド・フットボードが破損し、けがをするおそれがあります。
- **ヘッド・フットボードを持ってベッドを移動させないでください。**
ヘッド・フットボードが破損し、けがをするおそれがあります。
- **ヘッド・フットボードの上から身を乗り出さないでください。**
転落してけがをするおそれや、破損するおそれがあります。
- **最大利用者体重を守ってください。**
このベッドの最大利用者体重は、130kg です。それを超えて使用するとベッドの破損やけがをするおそれがあります。
- **2 人以上で使用しないでください。**
このベッドは一人用の設計になっています。2 人以上で使用するとベッドが破損してけがをするおそれがあります。介護者が一時的にベッドに乗る場合は、次の点を確認してください。
 - ・ベッドに乗る方の合計体重が最大利用者体重 130kg を超えていないこと。
 - ・ボトムが水平になっており、ベッドが最低高さになっていること。
- **ベッドに安全動作荷重を超える荷重を加えないでください。**
このベッドの安全動作荷重は 1,700N(174kgf)です。安全動作荷重はベッドを安全に使用できる荷重で、利用者、マットレス、オプションの合計荷重です。
- **乳幼児やお子様には使用しないでください。**
本製品は、乳幼児やお子様向けに設計されていません。乳幼児やお子様が使用されると、サイドレールなどのすきまにはさまれてけがをするおそれがあります。また、サイドレール使用時でもすきまから転落して、けがをするおそれがあります。
- **踏み台がわりに使用しないでください。**
ベッドから転落、転倒してけがをしたり、ベッドが破損、故障するおそれがあります。
- **ベッドの上で飛び跳ねないでください。**
ベッドから転落、転倒してけがをしたり、ベッドが破損、故障するおそれがあります。
- **ベッドの下に入る際やお手入れの際は、電源プラグを抜いてください。**
 誤操作によりけがをするおそれがあります。
プラグを抜く
- **電源プラグにホコリを付着させないでください。**
電源プラグの表面にホコリが付着している場合は乾いた布などでよく拭き取ってください。発火するおそれがあります。

警告

● 水などをこぼさないでください。



感電注意

アクチュエーターや手元スイッチ、アダプターに水などの液体がかかると、感電やショート、故障の原因となります。水などの液体がかかってしまった場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

● ベッドやその他の電気機器のコード類をベッド内に通す場合は、挟まないように注意してください。

可動部などに挟まれてコード類が破損し、感電、火災のおそれがあります。

● コード(電源コード・手元スイッチ)を傷つけないでください。



感電注意

- ・ベッドを設置される際は、コードを踏まないように気をつけてください。
- ・コードに重いものを載せたり、無理な力で引っ張ったりしないでください。
- ・ベッドの可動部でコードを挟まないように気をつけてください。コードが破損し、感電、故障、火災のおそれがあります。
- ・傷んだコードは必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご連絡ください。

● 電子治療器を使用する際は、必ずベッドの電源プラグを抜いてください。

電子治療器を同時に使用した場合、ベッドの誤動作や故障の原因となるおそれがあります。

● コード(電源コード・手元スイッチ)に足を引っ掛けないようにしてください。

転倒してけがをしたり、プラグやコードが破損し、感電、故障、火災のおそれがあります。

● 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。



感電注意

感電や故障のおそれがあります。

● 電源プラグを持って抜いてください。



プラグを抜く

コードのみを持って抜くと、コードが傷んで感電するおそれがあります。

● 電源プラグに無理な力を加えないでください。

電源プラグが破損し、感電や火災のおそれがあります。

● タコ足配線は行わないでください。

コンセントや延長コードの容量を超えると、電源コードや電源プラグが発熱して発火するおそれがあります。

● 手元スイッチなどの電装品を傷つけないでください。

手元スイッチなどの電装品を床に落したり踏んだりすると、破損するおそれがあります。

● お客様による修理や改造はしないでください。



分解禁止

故障や異常動作をし、けがをするおそれがあります。

● 火気に近づけないでください。

火災や変形の原因となります。

● 被災したベッドは点検・修理を依頼してください。

地震、火災、水害などで被災したベッドは、お買い上げの販売店まで点検、修理を依頼してください。電装品のショートや漏電による感電や火災、ベッドの変形による異常動作により、けがをするおそれがあります。

● 定期点検を行ってください。

安全にご使用いただくために、定期点検を行ってください。(21 ページ参照)

注 意

- **治療中の方は医師に相談してください。**

現在治療中の方は、ベッドの操作が症状を悪化させる可能性があります。ベッドのご使用に際しては、かかりつけの医師にご相談ください。

- **移乗の際はサイドガード(頭側・足側)に身体をぶつけないように注意してください。**

部品の破損や、けがをするおそれがあります。

- **ベッドの端に浅く座らないでください。**

ずり落ちてけがをするおそれがあります。

- **ヘッド・フットボードには必ずストッパーを掛けてください。**

ボードの取り付けが不完全な場合、つかまったときに不意にはずれて転倒し、けがをするおそれがあります。

- **操作時は周囲を確認してください。**

操作によって周囲の物を破損するおそれがあります。また、ベッドを変形・破損させる原因となります。周囲を確認してから操作を行ってください。

- **長期間使わない場合は、電源プラグを抜いてください。**

長期間、背上げ・高さ・膝上げ調節機能をご使用にならない場合は、誤動作などを防ぐために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- **スプレータイプの殺虫剤や有機溶剤をベッドに直接噴射しないでください。**

殺虫剤に含まれる溶剤や、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤によって、ベッドが破損・変色・溶解するおそれがあります。また、破損・溶解した部分で思わぬけがをするおそれがあります。

③手元スイッチについて



- ・子供や幼児、操作が理解できないと思われる方（認知症の方など）が一人で手元スイッチに触れる可能性がある場合は、電源プラグを抜いて誤操作による事故を未然に防いでください。
- ・手元スイッチに水などをこぼさないでください。感電・事故・破損の原因となります。かかってしまった場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。
- ・2 つ以上のボタンを同時に押さないでください。負荷がかかり、ベッドが停止するおそれがあります。
- ・モーターの連続使用時間は約 2 分までです。2 分以上の連続使用はしないでください。次に使用する場合は、18 分以上おいて使用してください。

- 手元スイッチを操作する事で、3 モーターはベッドの高さ調節と背ボトムの角度調節、膝の角度調節、2 モーターは高さ調節と背ボトムの角度調節、1 モーター・背上げは背ボトムの角度調節、1 モーター・昇降は高さ調節ができます。 ボタンを押すと動き、ボタンを離すとその位置で止まります。

※操作をする前に電源プラグをコンセントに差し込んでください。



■手元スイッチの取付位置

手元スイッチを使用しない時は、サイドレール外側にフックを掛けてください。



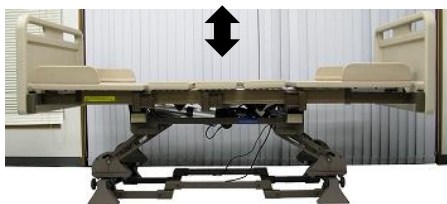
手元スイッチを押しても動かない時は、取扱説明書の故障かな？と思ったら(36 ページ)を参照してください。

④ベッドの使用方法・動作方法

- ベッドの高さ調節や背ボトム、膝上げの角度調節ができます。
- 手元スイッチのボタンを押すと動き、ボタンを離すとその位置で止まります。

たかさ	高さ調節	低床 31cm	垂直昇降	3 モーター	2 モーター	1 昇降
-----	------	---------	------	-----------	-----------	---------

- ・かかとを床に着けた端座位がとれ、立ち上がりしやすい高さに調節できます。
- ・車椅子やポータブルトイレなどの座面の高さにベッドの高さを合わせると、移乗がしやすくなります。
- ・ベッドの高さを上げることで、介護者の方が楽な姿勢で介護ができます。
- ・垂直に昇降するので、余分なスペースを取らず、スッキリとベッドを設置できます。



ベッドの高さが調節できます。
床からボトム面までの高さを、31cm～62cm まで調節できます。
(キャスター付きは、34.5～65.5cm)

高さ調節	低床 30.5cm	1 背上げ
------	-----------	----------

■高さ調節方法

床からボトム面までの高さを、30.5、36.4、42.3、48.2、54.1cm の 5 段階調節(5.9cm 刻み)ができます。(出荷時 30.5cm)



- ・作業はベッドをベースフレームの状態まで分解してから行ってください。(31～34 ページ参照)
- ・手や指などが挟まれないように注意してください。



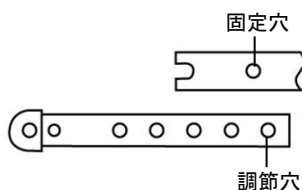
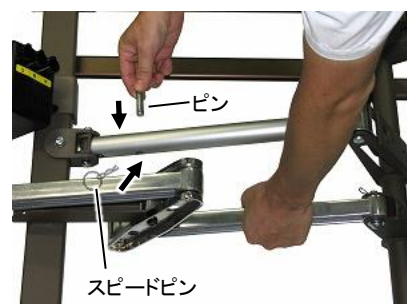
- ①連結バーを支えながら高さ調節パイプのスピードピンを抜き、ピンを抜いてください。



ベッドの高さが上がっている場合、高さ調節ピンを抜いた途端にベッドが下がります。連結バーをしっかり支えてください。けがをするおそれがあります。



- ②連結バーをスライドさせ、使用する高さに調節してください。
連結バーとフレームを持ち上げると、高さが上げやすくなります。



- ③固定穴と調節穴を合わせてピンを差し込み、スピードピンを差し込んでください。



※スピードピンの使い方

左図のように、ピンに確実に差し込んでください。

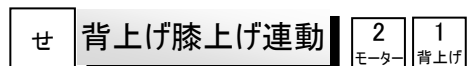
④ベッドの使用方法・動作方法



- ・ベッドからの起き上がりをサポートします。
- ・背上げが始まると、背ボトムが後方にスライド。おなかの圧迫感を軽減します。



背ボトムの角度は、水平から約 70°まで無段階に調節できます。



- ・ベッドからの起き上がりをサポートします。
- ・背上げが始まると膝が連動して上がり、身体のずり落ちを防ぎます。また、背ボトムは後方にスライドしながら上がるので、おなかや背中中の圧迫感を軽減します。



- ・背ボトムの角度は、水平から約 70°まで無段階に調節できます。
- ・膝上げは約 22°まで上がります。



背ボトムの角度が約 45°を越えると膝が下がり始め、背ボトムが約 70°まで上がると、膝は平らになります。それにより端座位がとりやすくなっています。

切替設定をする事で、背上げ膝上げ連動を解除し、背上げのみを行うことができます。(12 ページ参照)

※膝上げのみはできません。



膝の角度は、水平から約 22°まで無段階に調節できます。

④ベッドの使用方法・動作方法

ボード位置調節

3	2	1	1
モーター	モーター	背上げ	昇降

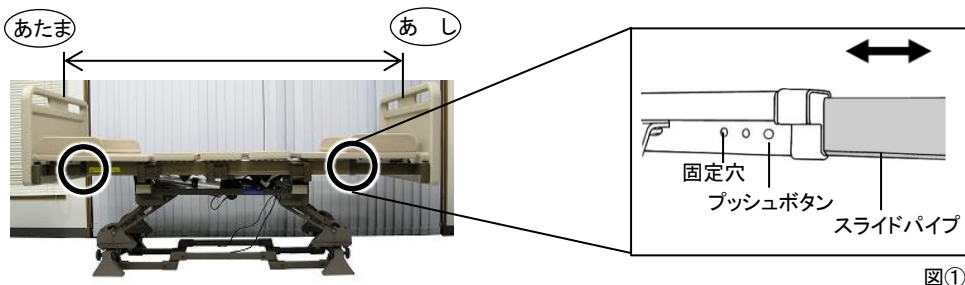
・ご利用者の体格や設置場所のスペース、マットレスの長さに応じて、ヘッド・フットボードの位置を各5cm、最大10cm 調節できます。(2.5cm 刻み)

※ヘッド・フットボードの位置調節をする場合は、ヘッド・フットボードを取り外してから調節してください。

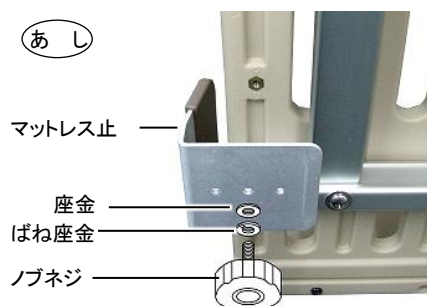
①調節側のボードを取り外してください。

②スライドパイプ内側にあるプッシュボタンを押しながらスライドパイプを前後に調節し、固定孔にプッシュボタンを合わせてください。(図①)

※向き合うスライドパイプを同じ長さに調節してください。(頭側2ヶ所・足側2ヶ所)



③フットボード位置調節をする場合やマットレスの長さに応じて、マットレス止めの調節をしてください。マットレス止めは足側にあり、2.5cm 刻み 3 段階の調節ができます。



※2ヶ所のマットレス止めの位置を合わせてください。

④フットボードを取り付けてください。

⑤ 背上げ膝上げ連動／連動解除の切替方法

2 モーター
1 背上げ

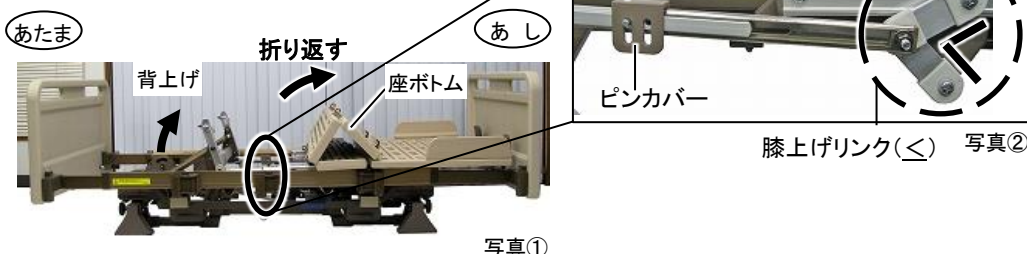
● 背上げ膝上げ連動／背上げのみ(連動解除)を切り替えることができます。(膝上げのみはできません。)



注意

- ・寝具やマットレスを取り除いた状態で行ってください。
- ・切替操作は、完全に背上げをした状態で膝上げリンクが頭側に < の形になっている事を確認してから行ってください。
- ・切替操作は左右各1ヶ所とも同じ位置にピンを差し込んでください。

- ① 背を水平にし、背ボトムを抜いてください。(32 ページ参照)
- ② 座ボトムの頭側のフックを本体から取り外します。(33 ページ参照)
- ③ 座ボトムを足側に折り返してください。(写真①)
- ④ 完全に背上げをしてください。



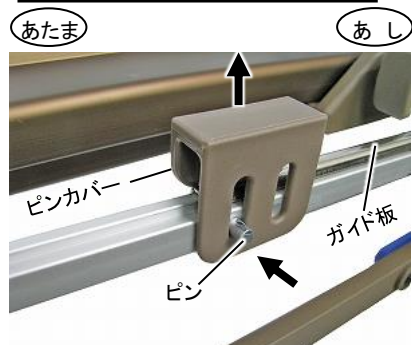
写真①



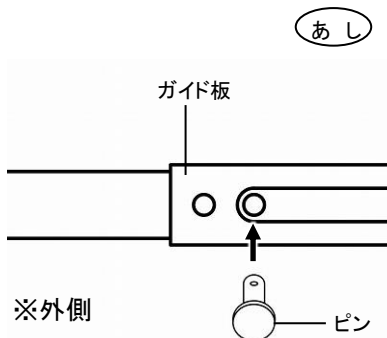
注意

- ・膝上げリンクが頭側に < の形になっている事を確認してください。(写真②)
- ・連動解除の状態、膝上げリンクが頭側に < の形になっていない時は、膝上げパイプを持ち上げて膝上げリンクを頭側に < の形にしてください。
- ・指詰めに注意してください。
- ・折り返した座ボトムを上から押さないでください。破損するおそれがあります。

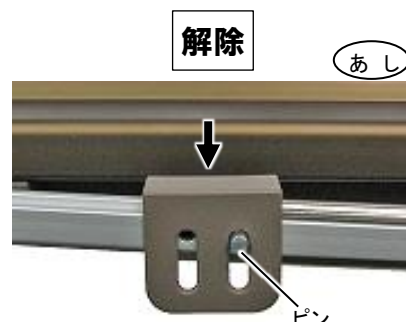
連動(出荷時)→連動解除



- ⑤ ピンカバーを上をスライドして外し、ピンを抜いてください。

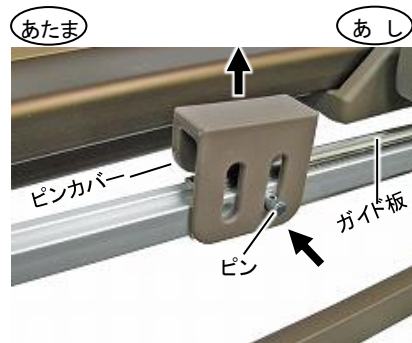


- ⑥ 足側の穴に外側からピンを差し込んでください。

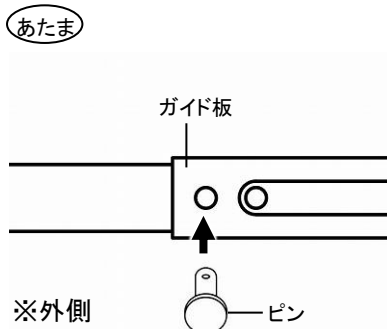


- ⑦ ピンカバーをピンに通し、下にスライドして取り付けてください。

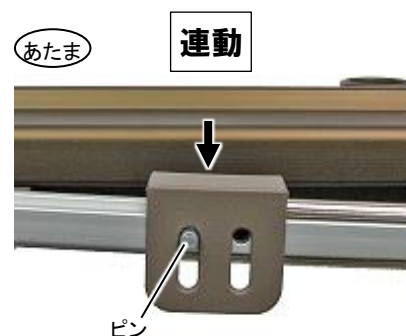
連動解除→連動



- ⑤ ピンカバーを上をスライドして外し、ピンを抜いてください。



- ⑥ 頭側の穴に外側からピンを差し込んでください。



- ⑦ ピンカバーをピンに通し、下にスライドして取り付けてください。



注意

- ・左右各1ヶ所とも同じ位置にピンとスピードピンが差し込まれていることを確認してください。
- ・ピンカバーはまっすぐ取り付けてください。
- ・切替操作後は背を水平にしてから座ボトムと背ボトムを取り付けてください。(18～19 ページ参照)

⑥開梱と部品の確認

■開梱後、下記の部品がすべて揃っているか、また、破損していないか確認してください。 万一不足している部品や、破損している部品がある場合は、お買い上げの販売店、または弊社までご連絡ください。

☒ 確認してください。

※サイズは梱包サイズ。()内の数字は、梱包材を含めた質量です。

開①ベースフレーム ベースフレーム ☐

137.5 X 84.5 X 29cm

☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 約 23.3kg(27.7kg)
モーター モーター 昇降



☐ 1 約 21.5kg (25.9kg)
背上げ



開②可動部フレーム 可動部フレーム ☐

158.5 X 91 X 20cm

☐ 3 約 20.4kg (25.3kg)
モーター



141 X 91 X 20cm

☐ 2 ☐ 1 約 16.4kg (21.2kg)
モーター 背上げ



141 X 91 X 20cm

☐ 1 約 16.4kg (21.2kg)
昇降



開③背・足ボトム、サイドレール、付属品一式

98.5 X 62.5 X 34.5cm

約 22kg (26.8kg)

背ボトム ☐



足ボトム ☐



スライドパイプ ☐



頭側: 2 本



足側: 2 本

手元スイッチ ☐



☐ 3 ☐ 2 ☐ 1 ☐ 1
モーター モーター 背上げ 昇降

アダプター ☐



アダプターカバー ☐



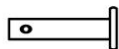
サイドレール ☐
(2 本 1 組)



⑥開梱と部品の確認

開③背・足ボトム、サイドレール、付属品一式

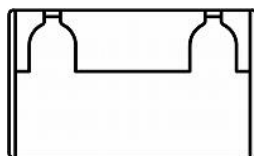
ピン小(4本) ☐



スピードピン小
(4本) ☐



カバー(4個) ☐



プラグアダプター
(1個) ☐



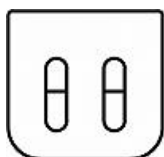
取扱説明書
(本書) ☐

※3 モーターには、2 モーターへ変更する場合の下記組立部品が同封されています。

ピン小(2本)
6*20 ☐



ピンカバー
(2個) ☐



部品一式 ☐

M8 座金(4個) パイプカラー(2個) M8 ばね座金(2個) M8 ナット(2個)



開④座ボトム、ヘッドボード、フットボード

104.5 X 60.5 X 15.5cm

約 15kg (18kg)

座ボトム ☐



ヘッドボード ☐ ※どちらか 1 組
フットボード



樹脂製



木製

⑦ベッドの設置場所について

ベッドを設置する際は、下記の条件を考慮してください。

●ベッド周辺のスペースを確保してください。

- ・ご利用者が起き上がる場合、ベッドの左右どちら側から乗り降りしやすいか。
- ・車椅子やポータブルトイレなどを使用する場合、左右どちら側から移乗しやすいか。
- ・介護スペースが十分取れているか。

●水平で荷重に耐えられる床を選んでください。

- ・ベッドの質量は、3 モーターで約 79.5kg、2 モーターで約 75.5kg、1 モーター・背上げ、1 モーター・昇降で各約 73.5kg です。こちらに、ご利用者の体重、寝具、オプション品などを含めた全重量が、床にかかる荷重となります。この荷重に十分耐えられる、水平な床を選んでください。

●故障の原因となりますので、次のような場所での設置はしないでください。

- ・直射日光のあたる場所
- ・冷暖房器の風が直接当たる場所
- ・ストーブなど火気の近く
- ・高温多湿、低温な場所
- ・風通しの悪い場所
- ・振動や衝撃のある場所

●電源プラグの抜き差しがしやすい場所に設置してください。

- ・誤操作を防ぐ為に、電源プラグを抜くことが必要な場合があります。
- ※電源コードの長さは約 3m です。

●ベッドの電源は、直接コンセントからとってください。

- ・延長コードやコンセントの容量を超えて他の機器と併用すると、発熱、発火するおそれがあります。

●ベッド周辺にご注意ください。

- ・ベッドの可動範囲で、周辺の家具や部屋の構造物などに当たらないように気をつけてください。

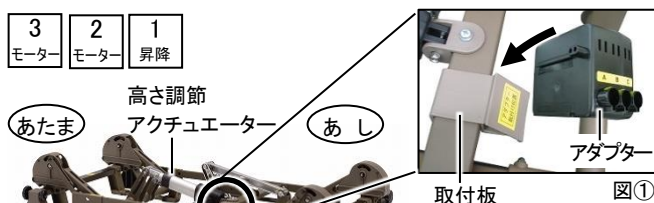


電源プラグとベッドが接触しないように、壁から 5cm(プラグアダプター使用時は 3cm)以上離してください。

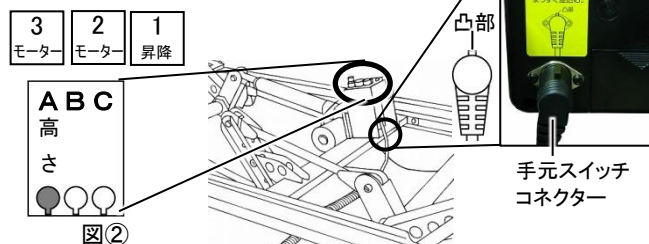


⑧ベッドの組立て方法

1.アダプター・手元スイッチの取り付け



- ①ベースフレームにある取付板にアダプターの溝を合わせ、アダプターをスライドさせて取り付けてください。



- ②3 モーター、2 モーター、1 モーター・昇降は、高さ調節アクチュエーターのコンネクターAをアダプターのAに差し込んでください。(図②)

- ③手元スイッチのコンネクターを、凸部を上向きにしてアダプターの側面にしっかり差し込んでください。(図③)

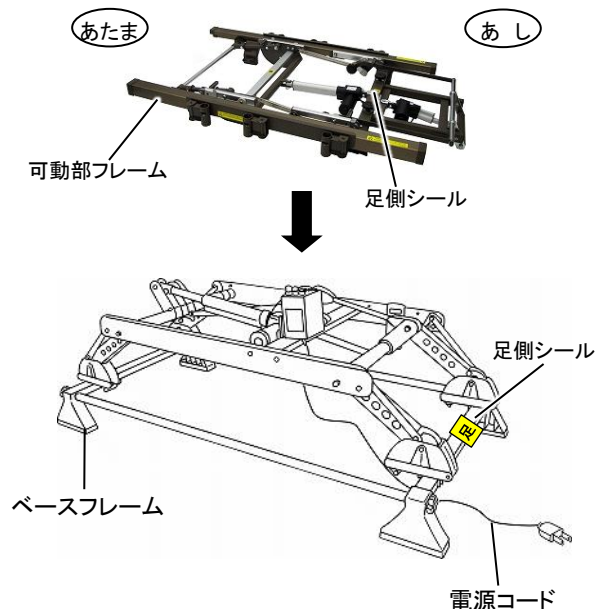
注意 手元スイッチコードは、必ずベースフレームの下側を通してアダプターに差し込んでください。(図③)

※1 モーター・背上げは使用する高さを確認し、必要に応じて高さ調節をしてください。(9 ページ参照)

2.可動部フレームの取り付け

※3 モーター、2 モーター、1 モーター・昇降は最初にベースフレームの高さを上げてください。

1 モーター・背上げは設定した高さのまま、組み立ててください。



- ①3 モーター、2 モーター、1 モーター・昇降は、電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチで最高高さまで上げてください。

※付属のプラグアダプターを使用すると、コンセントからの出っ張りを軽減できます。

- ②電源プラグをコンセントから抜いてください。

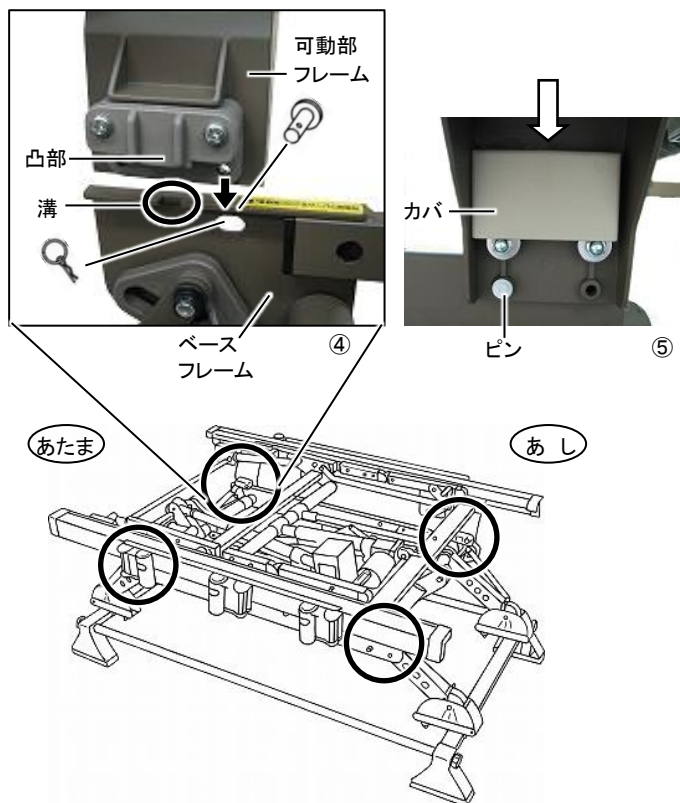
警告 電源コードは、必ずベースフレームの下側を通し、可動部で挟まれないようにしてください。また、脚部で電源コードが踏まれないようにしてください。

- ③ベースフレームに可動部フレームを載せてください。

注意 ベースフレームと可動部フレームの、足側シールの向きを合わせてください。

⑧ベッドの組立て方法

2.可動部フレームの取り付け



- ④ベースフレームの溝に可動部フレームの凸部を合わせて載せ、外側から内側の穴にピン(小)を差し込み、スピードピン(小)を差し込んでください。(4ヶ所)

← 可動部フレームをココに載せる。

- ⑤外側からカバーの溝を可動部フレームに合わせ、カバーを下にスライドさせてください。(4ヶ所)



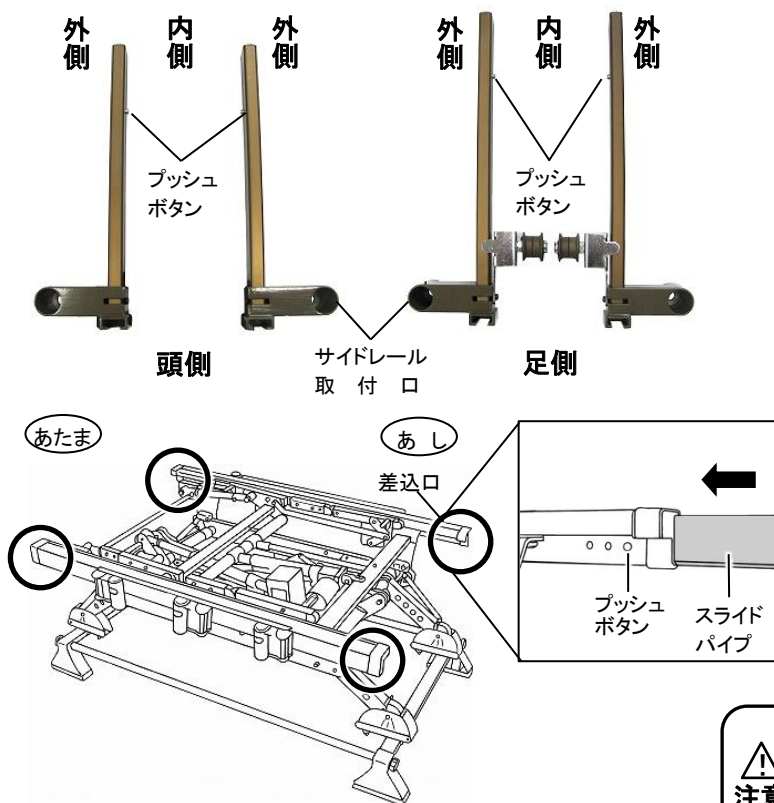
注意 カバーがしっかりかかっているか確認してください。



※スピードピンの使い方

左図のように、ピンに確実に差し込んでください。

3.スライドパイプ(頭側・足側)の取り付け



⚠ スライドパイプには、頭側・足側があります。

- ①スライドパイプを差込口に合わせ、プッシュボタンを押しながら差し込んでください。頭側と足側の4ヶ所に取り付けてください。

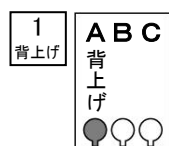
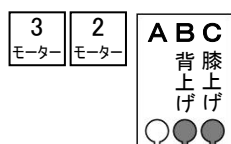
- ②スライドパイプは、頭側、足側ともに0・2.5・5cmの、前後調節(計10cm)ができます。ご利用者の体格に合わせて調節してください。(11ページ参照)



注意 ・スライドパイプは、ヘッド・フットボードがまっすぐになるよう、同じ長さに調節してください。
・プッシュボタンがしっかりはまり、スライドパイプが抜けないことを確認してください。

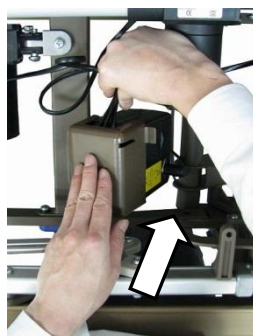
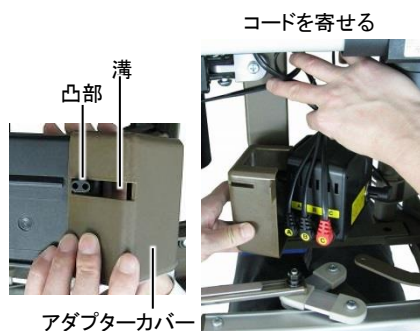
⑧ベッドの組立て方法

4.コネクタ(背上げ・膝上げ) の取り付け



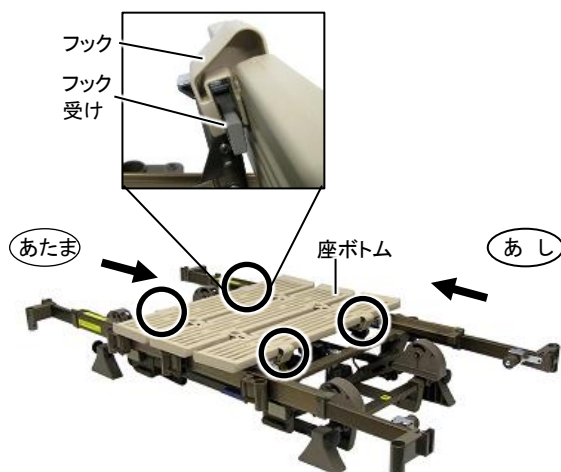
①3 モーターと2 モーターは背上げアクチュエーターのコネクタBをアダプターのBに、さらに3 モーターの膝上げアクチュエーターのコネクタCをアダプターのCにそれぞれ向きを合わせて差し込んでください。

1 モーター・背上げは背上げアクチュエーターのコネクタA をアダプターのAに向きを合わせて差し込んでください。

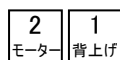


②アダプターの凸部にカバーの溝をはめてA～C のコードを寄せ、カバーを押して取り付けてください。

5.座ボトム取り付け



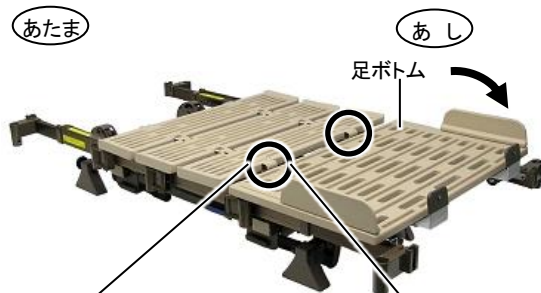
③座ボトムのフックをフック受けに引っ掛けます。
(頭側、足側の4ヶ所)



背上げ膝上げ連動/背上げのみ(連動解除)の設定をする場合は、頭側のフックは引っ掛けないでください。

⑧ベッドの組立て方法

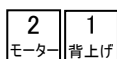
6.足ボトムに取り付け



- ①足ボトムを約 45°傾けて足ボトム取付口に差し込み、足ボトムをゆっくり降ろしてください。

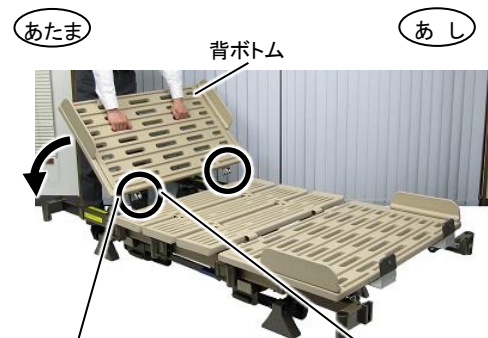


足ボトム取付口

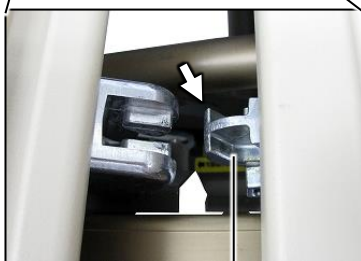


※使用状況に合わせて『背上げ膝上げ連動』か『背上げのみ(連動解除)』に設定してください。(12 ページ参照)
設定後、座ボトムの頭側のフックを引っ掛けてください。

7.背ボトムに取り付け



- ①背ボトムを約 45°傾けて背ボトム取付口に差し込み、背ボトムをゆっくり降ろしてください。

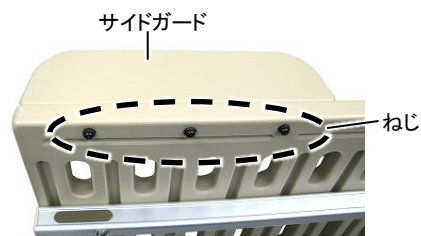


背ボトム取付口



警告

上がった背ボトムを足側に押さないでください。背ボトムが足側に倒れ、けがをしたり破損するおそれがあります。

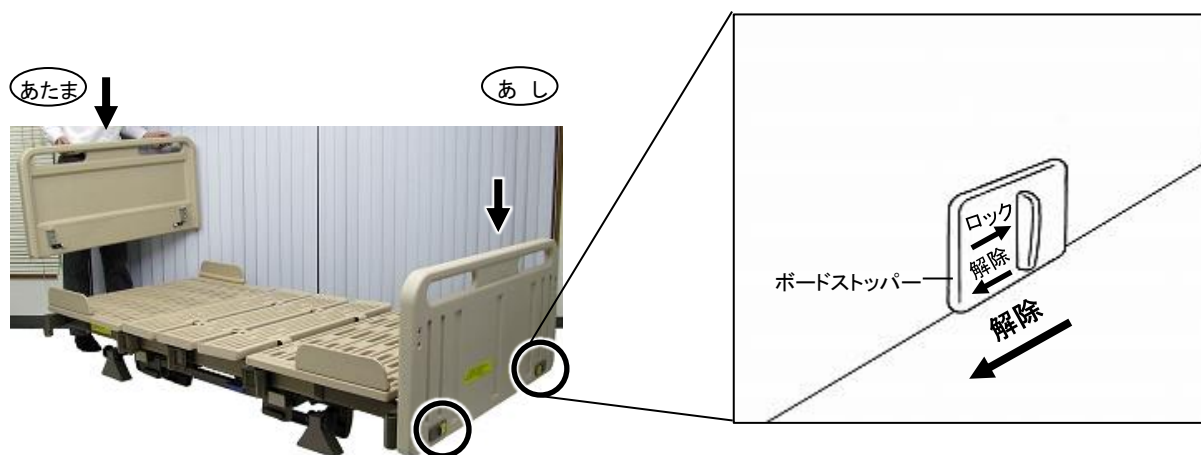


■頭側と足側のサイドガードは、取り外しができます。

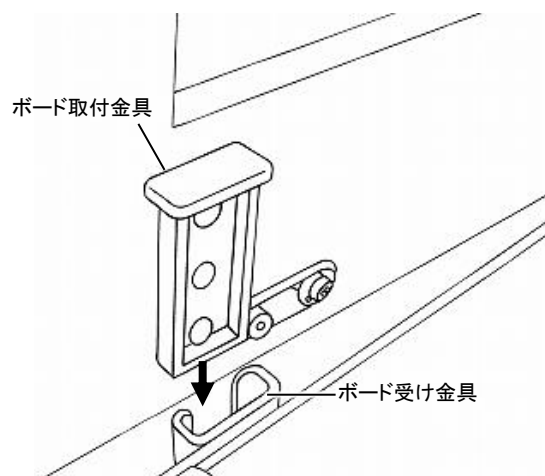
+ドライバ(#3)でねじを外し(3ヶ所)、サイドガードを取り外してください。

⑧ベッドの組立て方法

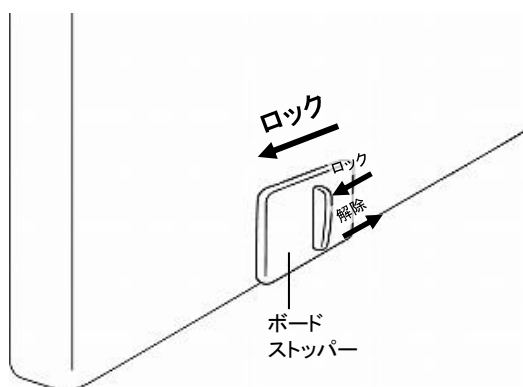
8.ヘッドボード・フットボードの取り付け



- ①.ヘッド・フットボードのボードストッパーが**内側**にスライドしている(解除)の確認してください。
(ヘッド・フットボード各 2 ヶ所)



- ②.ボード受け金具にボード取付金具を差し込んでください。
(ヘッド・フットボード各 2 ヶ所)



- ③.ボードストッパーを外側にスライドさせ(ロック)、ヘッドボードとフットボードを固定してください。
(ヘッド・フットボード各 2 ヶ所)



警告

- ・事故・破損の原因となりますので、ヘッド・フットボードはしっかり最後まで差し込んでください。
- ・ヘッド・フットボードは、必ずボードストッパーで固定してください。
- ・ヘッド・フットボードの位置調節をする場合は、ヘッド・フットボードを取り外してから調節してください。
(11 ページ参照)

⑨ベッドの組立て後の点検

- ベッドの組立て後、このチェックシートで点検をしてください。チェックがつかない項目は参照先を確認し、必ずすべての項目にチェックが入るようにしてください。
- 日常のご使用の際にも、こちらでベッドを点検してください。

 警告	・組立て後の点検は、必ず行ってください。点検を怠って使用すると、事故や故障の原因となるおそれがあります。 ・手元スイッチで操作しながら点検をしている際に異音や振動が生じた場合は、すぐにベッドの使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
---	---

	点検項目	参照先	☑
1	アダプター・手元スイッチの取り付け アダプターがはまり、アクチュエーター(3 モーターは背上げと高さ・膝上げ、2 モーターは背上げと高さ、1 モーター・背上げは背上げ、1 モーター・昇降は高さ)、手元スイッチのコネクター(凸部が上)がしっかり差し込まれていますか？ また、アダプターカバーは取り付けられていますか？	16・18 ページ	☐
2	手元スイッチコードの確認 手元スイッチコードがベースフレームの下側を通り、可動部にはさまれたり、踏まれていませんか？ また、コードに傷などはありますか？	16 ページ	☐
3	電源コードの確認 電源コードがベースフレームの下側を通り、はさまれたり、踏まれていませんか？ また、コードに傷などはありますか？	16 ページ	☐
4	高さ調節の確認 1 昇降 高さ調節パイプの固定穴にピンとスピードピンが確実に差し込まれていますか？	9 ページ	☐
5	可動部フレームの取り付け 1.ベースフレームと可動部フレームの向きは合っていますか？	16 ページ	☐
	2.可動部フレームはベースフレームに確実に乗り、ピン(小)とスピードピン(小)が確実に差し込まれ、カバーがされていますか？(4ヶ所)	17 ページ	☐
6	スライドパイプの取り付け 1.スライドパイプの向き(頭側・足側)(内側・外側)は合っていますか？	17 ページ	☐
	2.スライドパイプは、頭側・足側にプッシュボタンでしっかり差し込まれていますか？(頭側・足側左右各1ヶ所)		☐
	3.スライドパイプは、左右同じ位置に取り付けられていますか？		☐
7	座ボトムの取り付け 座ボトムはフック受けにフックが確実に引っ掛けられていますか？(4ヶ所)	18 ページ	☐
8	足ボトムの取り付け 足ボトムは足ボトム取付口に確実に差し込まれていますか？(2ヶ所)	19 ページ	☐
9	背上げ膝上げ連動/連動解除 2 モーター 1 背上げ 1.完全に背上げをした状態で、膝上げリンクが頭側にくの形になっていますか？	12 ページ	☐
	2.ガイド板にピンとピンカバーが確実に差し込まれていますか？(2ヶ所)		☐
10	背ボトムの取り付け 背ボトムは背ボトム取付口に確実に差し込まれていますか？(2ヶ所)	19 ページ	☐
11	ヘッドボード・フットボードの取り付け ヘッドボード・フットボードはボード受け金具に差し込まれ、ロックが確実にされていますか？(各2ヶ所)	20 ページ	☐
12	操作の確認 手元スイッチのボタンを押すと、各動作がスムーズに作動しますか？ (3 モーターは背上げと高さ・膝上げ、2 モーターは背上げと高さ、1 モーター・背上げは背上げ、1 モーター・昇降は高さ) また、異音はありませんか？	8～10 ページ	☐
13	定期点検時の注油 定期点検の際は注油シール箇所注油をしてください。(ベース部・可動部各4ヶ所)	36 ページ	☐

⑩マットレスの使用方法和注意



警告

- ・このベッドには、必ず弊社指定適合品のマットレスをご使用ください。
- ・弊社指定以外のマットレスを設置すると意図せぬ隙間が発生し、サイドレールやボトムとマットレスとのあいだに身体の一部が挟まれてけがをするおそれがあります。
- ・マットレス上面からサイドレール上桟までの高さは、22cm 以上を確保してください。寝返りや体位変換時に転落するおそれがあります。

※マットレスの取扱説明書を必ずお読みください。仕様変更等により、この取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点はお買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。

●あらえ〜る 14 マットレス

品番:BB-2006

寸法:(幅)87x(長)186x(厚)6cm

重量:約 7kg

特長

- ・マットレスが簡単に丸洗いででき、いつでも清潔にお使いいただけます。
- ・詰め物にはあたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

●すこやか 14 マットレス

品番:BB-2003

寸法:(幅)90x(長)190x(厚)8cm

重量:約 4.6kg

特長

- ・均等に体圧を分散します。
- ・詰め物には表と裏、あたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

●コースマットレス

品番:BB-2004

寸法:(幅)90x(長)190x(厚)8cm

重量:約 5.4kg

特長

- ・スラット構造が体圧を分散し、290 個の通気孔と共にムレを軽減します。
- ・側面から 12cm に高硬度ウレタンフォームを使用し、端座位を取りやすくしています。
- ・詰め物にはあたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。

●ベンズマットレス

品番:BB-2005

寸法:(幅)90x(長)190x(厚)8cm

重量:約 6.2kg

特長

- ・スラット構造が体圧を分散し、290 個の通気孔と共にムレを軽減します。
- ・側面から 12cm に高硬度ウレタンフォームを使用し、端座位を取りやすくしています。
- ・側地(上面)はダイヤモンドキューブ模様の優しい肌触りで、通気性を持たせています。
- ・詰め物にはあたまとあし側の区別がなく、定期的に入れ替えてご使用いただけます。



注意

- すこやか 14、コース、ベンズマットレスを使用する際は、ボード位置とマットレス止めの調節を下記のいずれかに調節してください。調節の仕方はボード位置調節を参照してください。(11 ページ)
- ・頭側スライドパイプを 2 段階伸ばす。
- ・足側スライドパイプとマットレス止めを 2 段階伸ばす。
- ・頭側、足側スライドパイプ、マットレス止めを 1 段階伸ばす。

⑪オプションの取り付け

1. サイドレールの取り付け

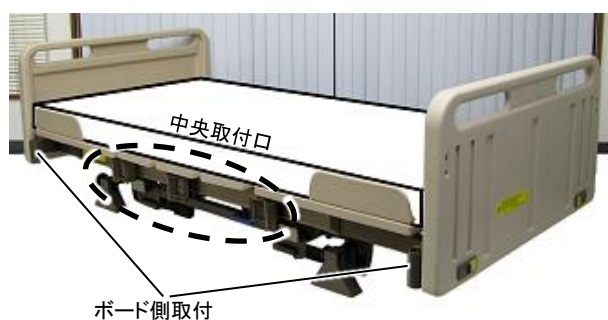
●ベッド両サイドの取付口を利用し、サイドレールが使用できます。



警告

- ・サイドレールのすきま、ヘッド・フットボードとサイドレールとのすきま、ベッドとサイドレールとのすきまに、頭、首、腕や足が入らないように注意してください。すきまに入ると抜けなくなり、けがをするおそれがあります。
- ・必ず弊社製品のサイドレール(BB-2101、BB-2102)をお使いください。
- ・サイドレールを中央に取り付けしないでください。必ず頭側、足側に取り付けてください。

※サイドレールの取扱説明書を必ずお読みください。仕様変更等によりこの取扱説明書の記述と異なる場合があります。ご不明な点はお買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせください。



収納時



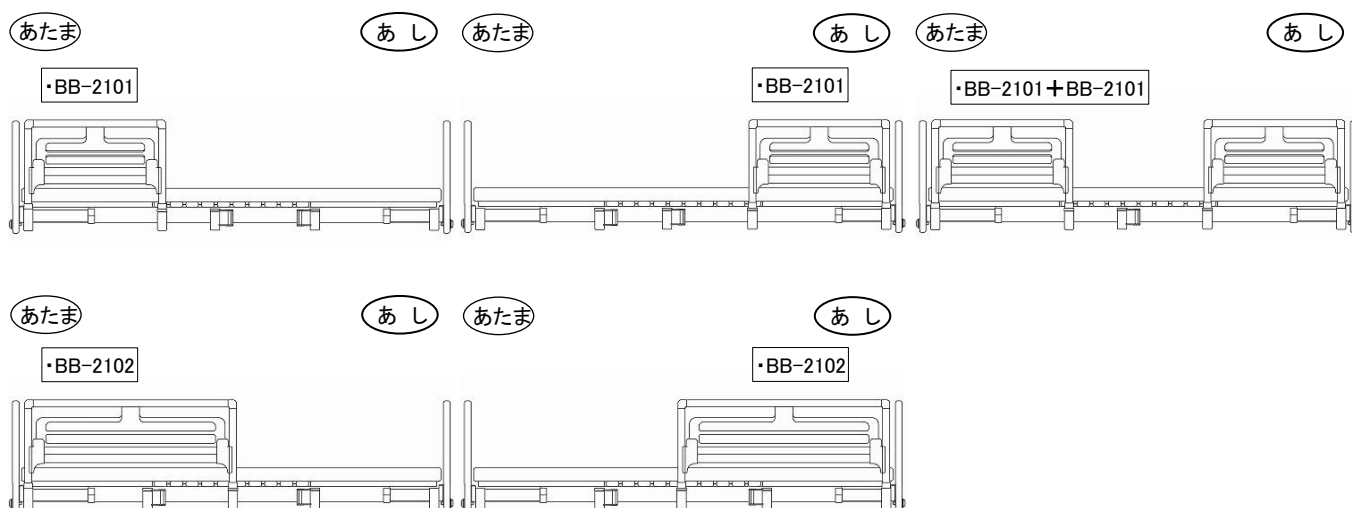
使用時



※中央取付口は未使用時にベッド本体内に収納ができ、じゃまになりません。(左右各3ヶ所)

■サイドレールの組み合わせと取付位置

下図を参照し、正しく取り付けてください。



注意

BB-2102 は、ベッド片側にどちらか1つしか取り付けできません。

⑪オプションの取り付け

2.キャスターの取り付け



注意

- ・本製品に取り付けられるキャスターは、BB-2210 です。
- ・キャスターは 4 ヶ所すべてに取り付けてください。
- ・1 ヶ所ずつ交換してください。
- ・キャスターを取り付けると、ベッドの高さが 3.5cm 高くなります。また、3.5kg 重くなります。
- ・外した脚部はなくさないように保管してください。

●部品の確認

キャスター(4 個)

ナットガイド(4 個)

キャスターガイド(4 個)

ばね座金(4 個)

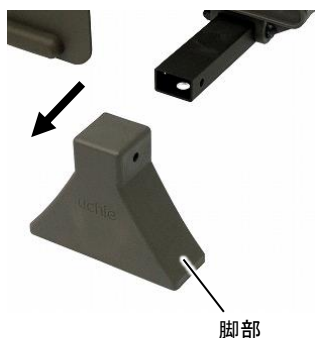
六角ナット(4 個)



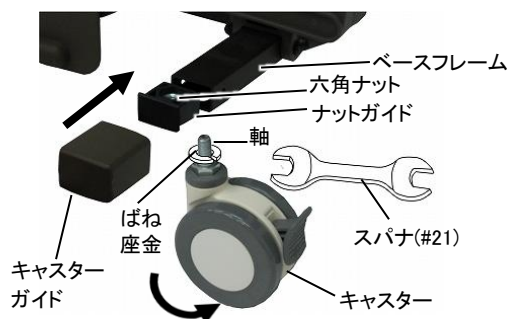
●取り付け



①脚部のノブナットをゆるめて外し、ノブボルトを抜いてください。



②脚部を取り外してください。



③六角ナットを入れたナットガイドをベースフレームに差し込み、さらに穴位置を合わせてキャスターガイドを差し込んでください。

④ロックしたキャスターの軸にばね座金を入れ、21mm の薄口スパナを使用してしっかり締めてください。(4 ヶ所)



警告

- ・キャスターがしっかり取り付けられているか確認してください。取り付けが不十分だとキャスターが抜け、けがをするおそれがあります。
- ・ベッドを移動させる時以外は、4 ヶ所すべてのキャスターを必ずロックしてください。



注意

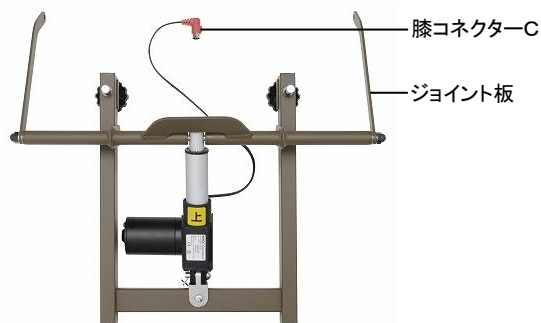
- ・キャスターをロックした状態で無理にベッドを動かさないでください。無理に動かすとキャスターが故障するおそれがあります。
- ・たたみやじゅうたんなどの上で使用する際は市販の保護シートなどを敷いてください。たたみやじゅうたんなどがへこむおそれがあります。

⑫2 モーターから 3 モーターへの交換

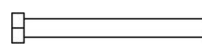
- 膝ユニットを取り付けると、2 モーターから 3 モーターに交換することができます。
- 作業がしやすいように、高さを一番下まで下げてください。



作業は必ず 2 人以上で行ってください。



膝ユニット



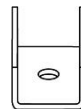
ねじ x2



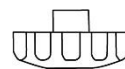
座金 x6(黒)
x2(銀)



ばね座金 x4



補強板 x2

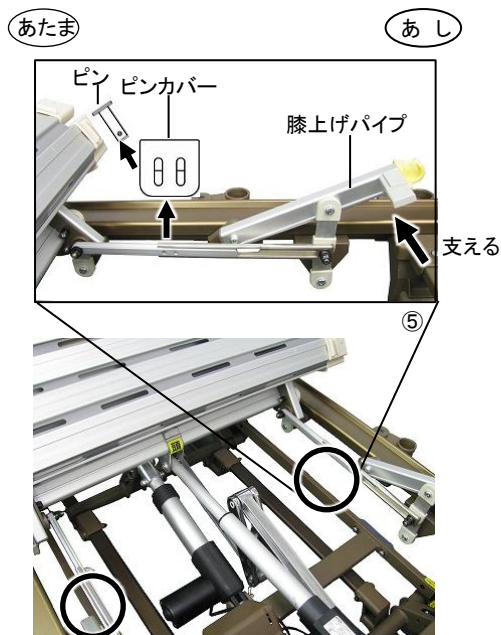


ノブナット x4

膝ユニット取付部品



③④



⑤

- ① フットボードを取り外してください。(31 ページ参照)
- ② 背を水平にし、足ボトムを取り外してください。
(32 ページ参照)

- ③ 座ボトムの足側のフックを外し(33 ページ参照)、背上げ膝上げ連動/連動解除ピンが見えるように座ボトムを頭側に折り返してください。
- ④ 背を 45° 上げてください。

- ⑤ 膝上げパイプを支え、背上げ膝上げ連動部のピンカバーを上スライドして外し、ピンを抜いてください。(左右各 1 ヶ所)

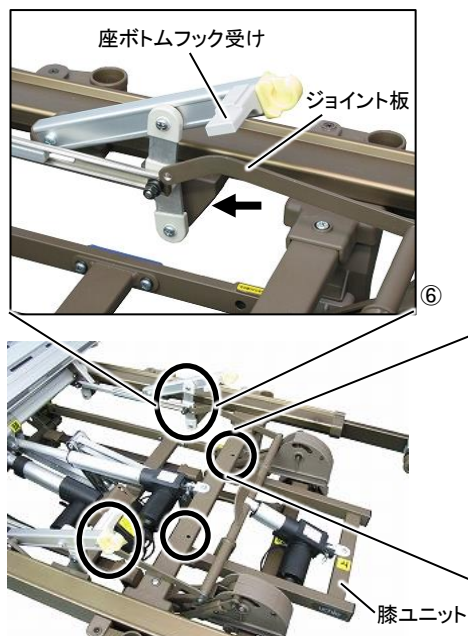


背上げ膝上げ連動ピンは必ず 2 ヶ所すべて抜いてください。
警告 抜かずに膝ユニットを取り付けると、本体が破損します。



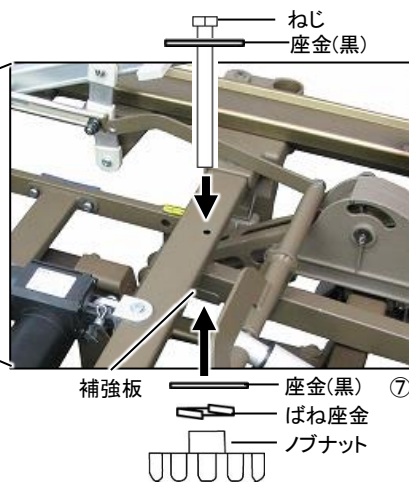
抜いたピンとピンカバーは 2 モーターに戻す際に使用します。
注意 紛失しないように保管してください。

⑫2 モーターから 3 モーターへの交換

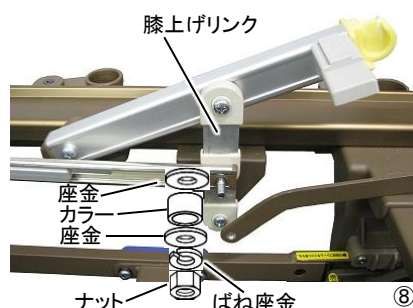


⑥ 膝ユニットのジョイント板を座ボトムフック受けの下に通してください。

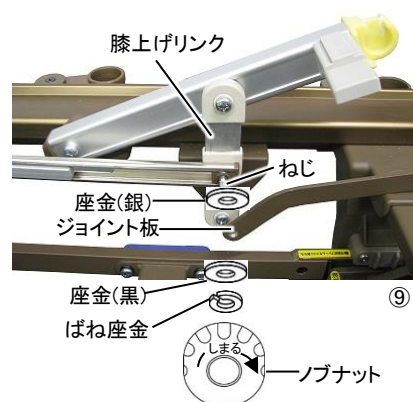
⑦ 座金(黒)を通した取付ねじを上から差し込み、下から補強板、座金(黒)、ばね座金を入れ、ノブナットでしっかり締めてください(2ヶ所)。



警告 取付ねじは必ず上から差し込んでください。下から差し込むとノブナットが膝ユニットに干渉し、破損します。



⑧ 膝上げリンクのナットを外し、ばね座金、座金、カラー、座金を取り外してください。(左右各 1ヶ所)



⑨ 座金(銀)、膝ユニットのジョイント板を膝上げリンクのねじに入れ、座金(黒)、ばね座金を通し、ノブナットでしっかり締めてください。(左右各 1ヶ所)

⑩ アダプターカバーを取り外してください。(33 ページ参照)

⑪ 膝上げコネクタ C をアダプターの C に差し込んでください。(18 ページ参照)

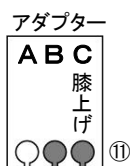
⑫2 モーターの手元スイッチコネクタをアダプターから抜き、3 モーターの手元スイッチコネクタを差し込んでください。(16 ページ参照)

⑬ アダプターカバーを取り付けてください。(18 ページ参照)

⑭ 背を水平にし、座ボトムの足側のフックを取り付けてください。(18 ページ参照)

⑮ 足ボトムを取り付けてください。(19 ページ参照)

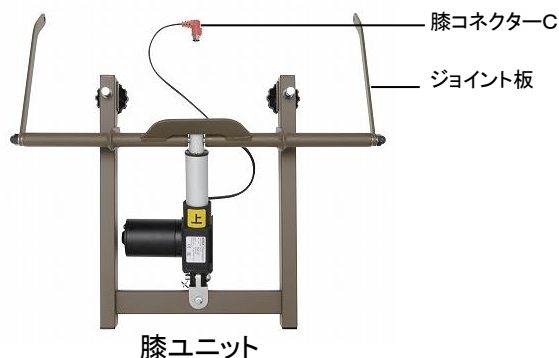
⑯ フットボードを取り付けてください。(20 ページ参照)



注意 作業終了後、21 ページの「ベッドの組立て後の点検」に従い、点検を行ってください。(点検項目 1～3、7～8、11～12)

⑫3 モーターから 2 モーターへの交換

- 膝ユニットを取り外すと、3 モーターから 2 モーターに交換することができます。
- 作業がしやすいように、高さを一番下まで下げてください。



注意 作業は必ず 2 人以上で行ってください。



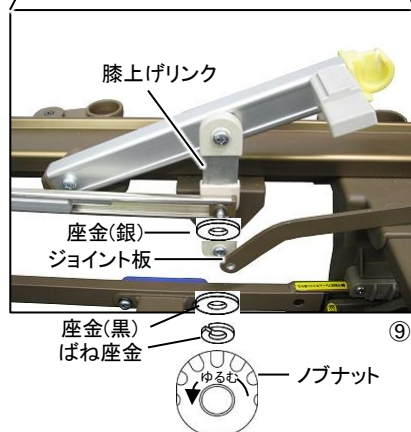
膝上げリンク取付部品

①フットボードを取り外してください。(31 ページ参照)

②背と膝を水平にし、足ボトムを取り外してください。
(32 ページ参照)

③座ボトムの足側のフックを外し(33 ページ参照)、座ボトムを
頭側に折り返してください。

④ひざを最後まで上げてください。



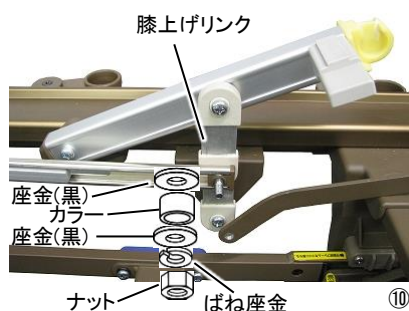
⑤アダプターカバーを取り外してください。(33 ページ参照)

⑥膝上げコネクターC をアダプターから抜いてください。
(33 ページ参照)

⑦3 モーターの手元スイッチコネクターをアダプターから抜き、
2 モーターの手元スイッチコネクターを差し込んでください。
(16 ページ参照)

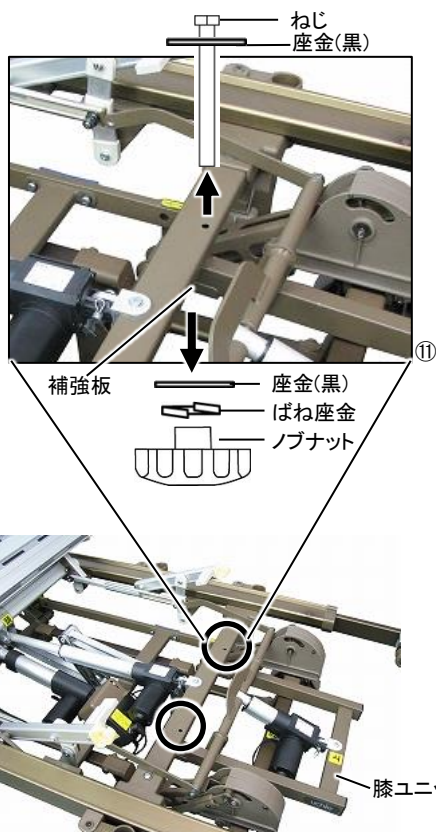
⑧アダプターカバーを取り付けてください。(18 ページ参照)

⑨膝上げリンクのノブナットを外し、ばね座金、座金(黒)、
膝ユニットのジョイント板と座金(銀)を外してください。
(左右各 1 ヶ所)



⑩膝上げリンクに座金(黒)、カラー、座金(黒)、ばね座金を入
れ、ナットで締めてください。(左右各 1 ヶ所)

⑫3 モーターから 2 モーターへの交換

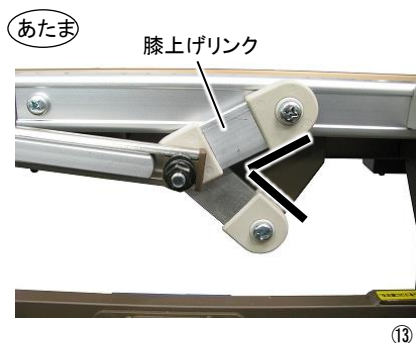


- ⑪ 膝ユニットを支えながらノブナットを外し、ばね座金、座金(黒)、補強板、座金(黒)、ねじを抜いてください。(2ヶ所)



注意 膝ユニットが落ちないように、支えながらねじを抜いてください。けがや破損するおそれがあります。

- ⑫ 膝ユニットを取り外してください。



- ⑬ 膝上げリンクを、頭側にくの形にしてください。



注意 膝上げリンクを、必ず頭側に くの形にしてください。くの形にせず背上げをすると、部品が外れます。

- ⑭ 背上げ膝上げ連動/背上げのみ(連動解除)の設定をしてください。(12 ページ参照)



- ⑮ 背を水平にし、座ボトムの足側のフックを取り付けてください。(18 ページ参照)

- ⑯ 足ボトムを取り付けてください。(19 ページ参照)

- ⑰ フットボードを取り付けてください。(20 ページ参照)

⑰

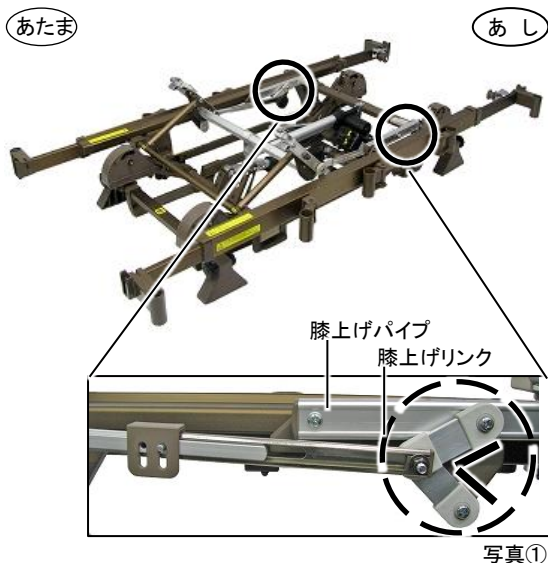


注意 作業終了後、21 ページの「ベッドの組立て後の点検」に従い、点検を行ってください。(点検項目 1～3、7～9、11～12)

⑬停電・故障時の手動による背下げ操作

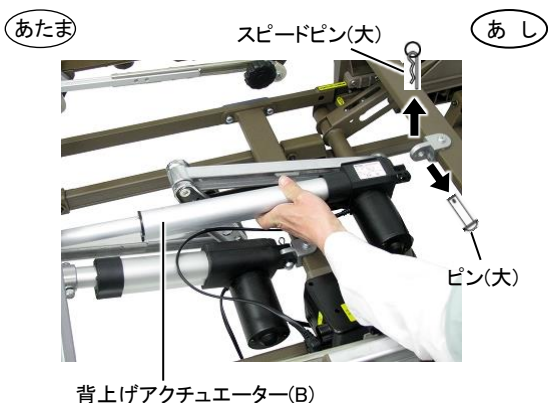
■停電時や故障により背ボトムが下げられなくなった場合、手動で背ボトムを下げるができます。
32 ページの「故障かな？と思ったら」に従って確認し、ベッドが故障している場合はお買い上げの販売店までご連絡ください。

注意 ・作業は必ず 2 人以上で行ってください。
・背上げアクチュエーター(B)の取り付けピンが抜きにくい際はペンチを使用してください。



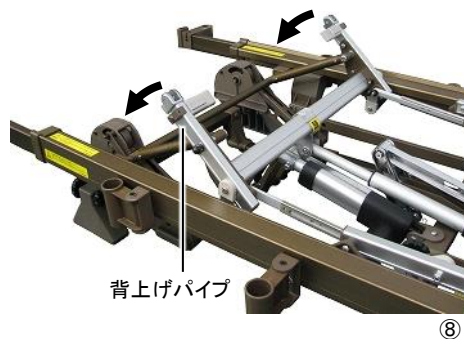
- ①電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ②ご利用者と寝具、マットレスをベッドから降ろしてください。
- ③ヘッド・フットボードを取り外してください。(31 ページ参照)
- ④背ボトム、足ボトム、座ボトムを取り外してください。
(32、33 ページ参照)
- ⑤アダプターを上スライドし、取り外してください。(34 ページ参照)

注意 背上げ膝上げ連動解除の場合は膝上げリンクが頭側に < の形になっているか確認してください。(写真①)
なっていない時は膝上げパイプを持ち上げて向きを変えてください。



- ⑥背上げアクチュエーター(B)が落下しないように支えながらスピードピン(大)を抜き、ピン(大)を抜いてください。
- ⑦背上げアクチュエーター(B)を外してください。

注意 背上げアクチュエーター(B)がフレームにドスンと落ちないように注意してください。



- ⑧背上げアクチュエーター(B)がフレームに当たらないように注意しながら、背上げパイプをゆっくり押し下げてください。
※背上げ膝上げ連動に設定している場合、膝上げパイプも動くので注意してください。

- ⑨アダプターをスライドし、取り付けてください。(16 ページ参照)
- ⑩座ボトムを取り付けてください。(18 ページ参照)
- ⑪背ボトム、足ボトムを取り付けてください。(19 ページ参照)
- ⑫ヘッド・フットボードを取り付けてください。(20 ページ参照)

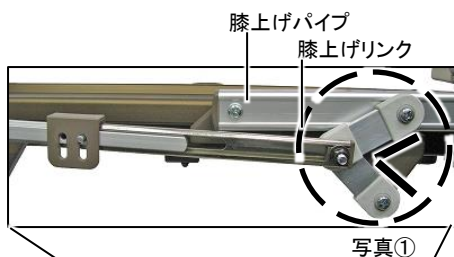
注意 ・外した背上げアクチュエーター(B)のピン(大)とスピードピン(大)は戻す際に使用します。紛失しないように保管してください。
・この作業を行ったときは、もとの状態に戻すまで電源プラグはコンセントから抜いたままにしてください。

⑬停電・故障時の手動による背下げ操作-戻し方

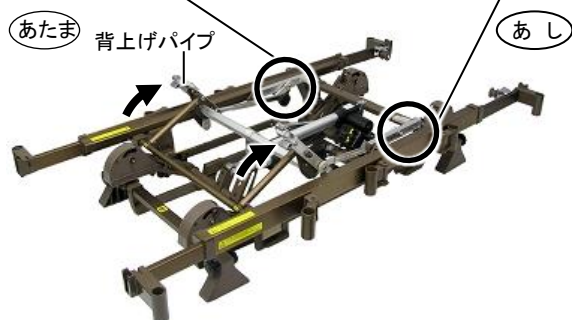


- ・停電復旧後は、以下の手順でベッドを元の状態に戻してください。
- ・作業は必ず 2 人以上で行ってください。

- ①ご利用者と寝具、マットレスをベッドから降ろしてください。
- ②ヘッド・フットボードを取り外してください。(31 ページ参照)
- ③背ボトム、足ボトム、座ボトムを取り外してください。
(32、33 ページ参照)
- ④アダプターを上スライドし、取り外してください。(34 ページ参照)



注意 背上げ膝上げ連動解除の場合は膝上げリンクが頭側に
く の形になっているか確認してください。(写真①)
なっていない時は膝上げパイプを持ち上げて向きを変えて
ください。

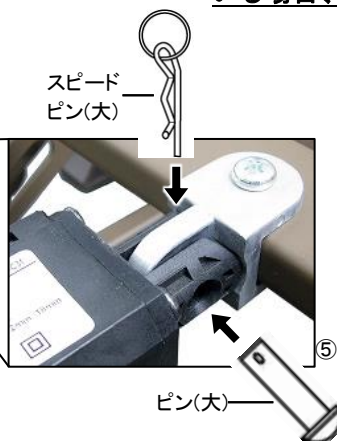


- ⑤背上げパイプをゆっくり持ち上げて背上げアクチュエーター(B)を差込口にに取り付け、ピン(大)を差し、スピードピン(大)を差ししてください。

※背上げパイプを持ち上げると背上げ膝上げ連動に設定している場合、膝上げパイプも動くので注意してください。



背上げアクチュエーター(B)



- ⑥アダプターをスライドし、取り付けてください。(16 ページ参照)
- ⑦ベッドの電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ⑧完全に背下げをしてください。
- ⑨座ボトムを取り付けてください。(18 ページ参照)
- ⑩背ボトム、足ボトムを取り付けてください。(19 ページ参照)
- ⑪ヘッド・フットボードを取り付けてください。(20 ページ参照)



注意 作業終了後、21 ページの「ベッドの組立て後の点検」に従い、点検を行ってください。
(点検項目 1～3、7～12)

⑭ベッドの分解方法

※ベッドの分解は、お買い上げの販売店に依頼することをお勧めします。



- ・キャスターを使用中の場合は、必ずキャスターのロックをかけてください。
- ・部品が落下してけがをしないよう注意してください。
- ・外したピン・スピードピンは紛失しないように保管してください。

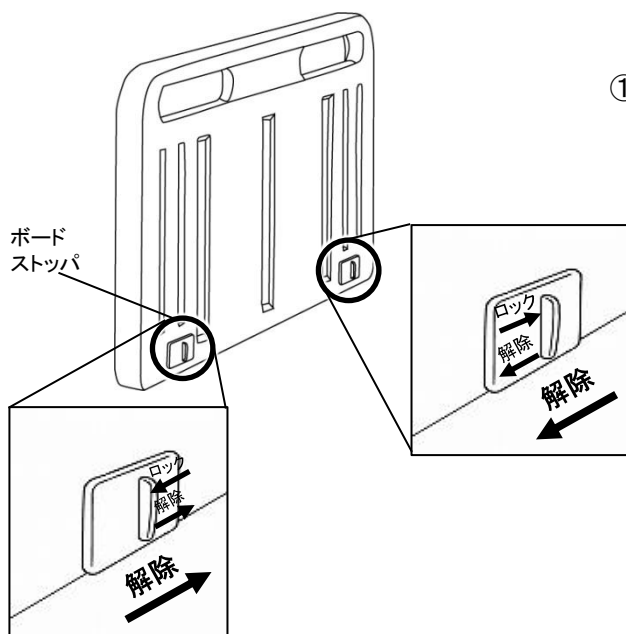
1. オプション・寝具の取り外し

- ①ベッドのオプション(サイドレールなど)をベッドから取り外してください。
- ②寝具、マットレスをベッドから降ろし、ベッド本体のみにしてください。

2. ボトムの確認

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②手元スイッチを操作し、背ボトムと足ボトムを水平にしてください。
- ③電源プラグをコンセントから抜いてください。

3. ヘッド・フットボードの取り外し



- ①ヘッド・フットボードのボードストッパーを内側(解除)にスライドさせてください。(ヘッド・フットボード各2ヶ所)



- ②ヘッド・フットボードを真上に持ち上げて取り外してください。

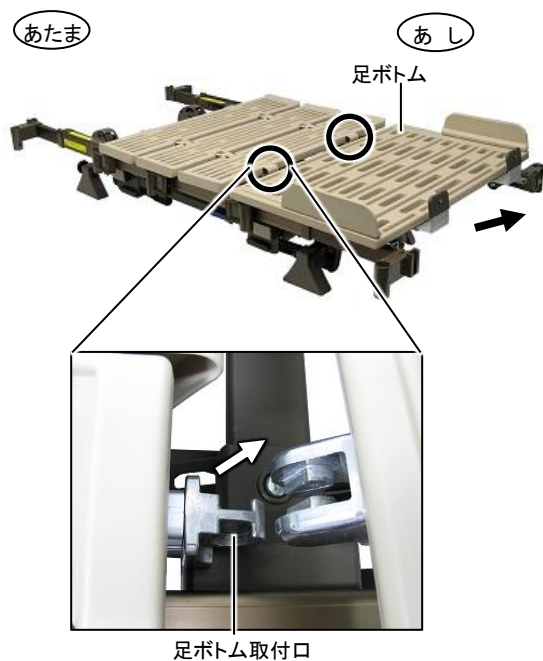
⑭ベッドの分解方法

4. 背ボトムを取り外し



① 背ボトムを約 45°持ち上げて取り外してください。

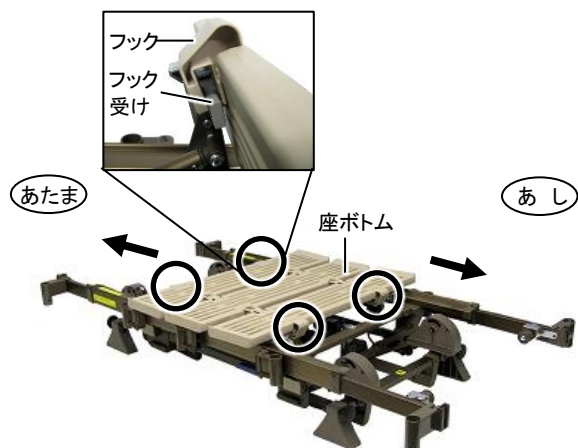
5. 足ボトムを取り外し



① 足ボトムを約 45°持ち上げて取り外してください。

⑭ベッドの分解方法

6.座ボトムを取り外し

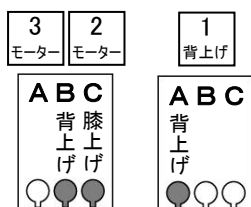


- ①座ボトムを頭側と足側に引き、フック受けからフックを抜いて(計4ヶ所)座ボトムを取り外してください。

7.コネクター(背上げ・膝上げ)の取り外し



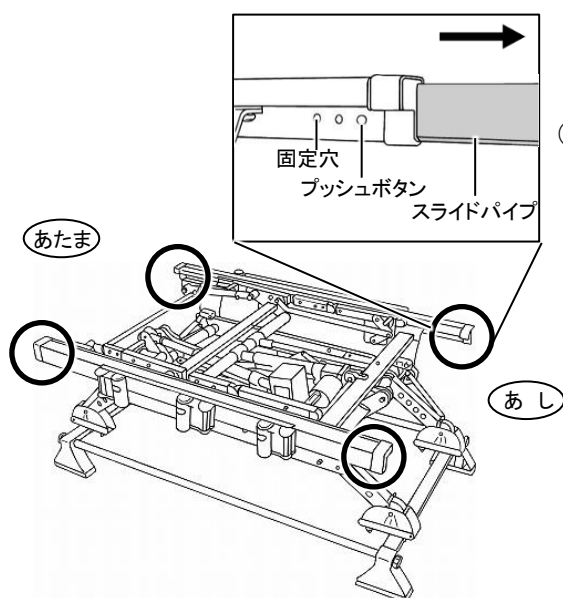
アダプターカバ



- ①アダプターカバーを取り外してください。
- ②背上げアクチュエーターのコネクター (3 モーター、2 モーターは B、1 モーター・背上げは A)と膝上げアクチュエーターのコネクター C (3 モーター)をアダプターから抜いてください。

8.スライドパイプ(頭側・足側)の取り外し

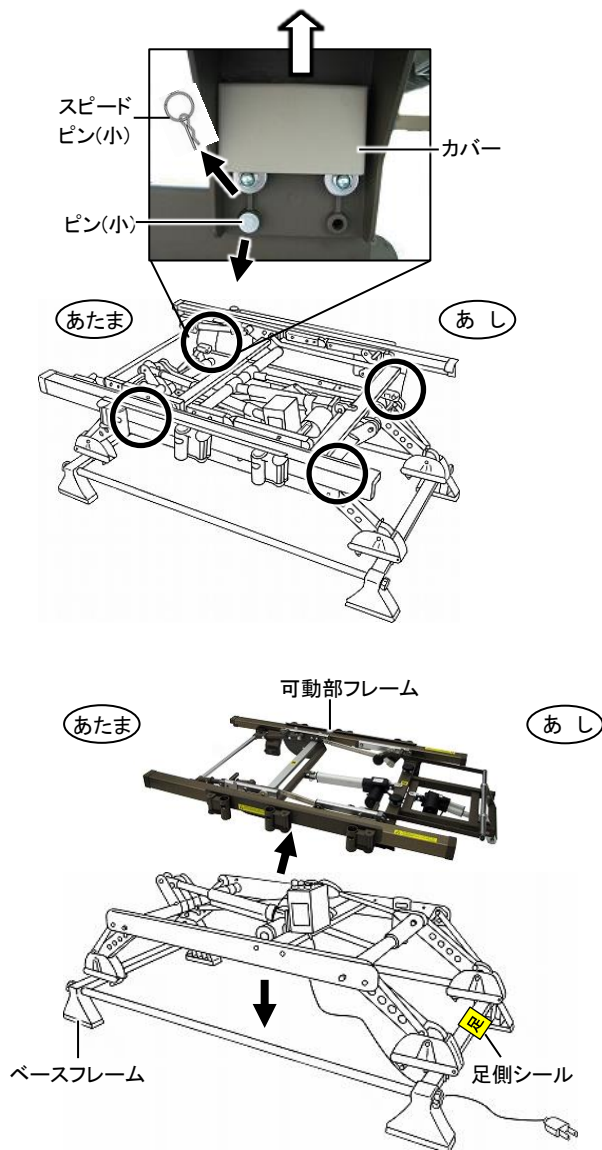
- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。
- ②手元スイッチを操作し、3 モーター、2 モーター、1 モーター・昇降はベッドの高さを上げてください。
- ③電源プラグをコンセントから抜いてください。



- ④プッシュボタンを押しながら、スライドパイプを抜いてください。(頭側・足側各2ヶ所)

⑭ベッドの分解方法

9.可動部フレームの取り外し



①カバーを上にもスライドさせて取り外し、スピードピン(小)を抜き、ピン(小)を抜いてください(計4ヶ所)

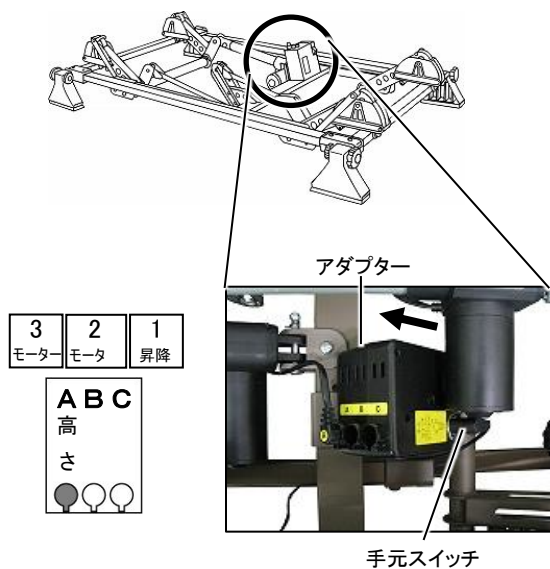
②可動部フレームを持ち上げ、ベースフレームから取り外してください。

③電源プラグをコンセントに差し込み、手元スイッチでベッドの高さを一番下まで下げてください。

④電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意 取り外したピン(小)、スピードピン(小)、カバーは紛失しないように保管してください。

10.アダプター・リモコンの取り外し



①3 モーター、2 モーター、1 モーター・昇降は高さ調節アクチュエーターのコネクターAをアダプターから外してください。

②手元スイッチのコネクターを、アダプターから外してください。

③アダプターをスライドさせて抜いてください。

※アクチュエーターのコードや電源コード、手元スイッチコードは束ねて保管してください。

⑭ベッドの分解方法

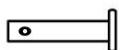
11. 分解した部品の保管

- ・ベッド分解後、組立部品を無くさないよう袋に入れ、取扱説明書、電子部品、本体構成部品と一緒に保管してください。
- ・アクチュエーターのコネクターコード、手元スイッチ、電源コードは束ねて保管してください。
- ・座ボトムは可変しますので、ご注意ください。

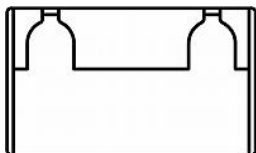
■ 付属品 ・取扱説明書 1 枚

■ 組立部品

・ピン小(4 本)



・カバー(4 本)



・スピードピン
小(4 本)



■ 電子部品

・アダプター



・手元スイッチ

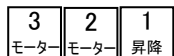


・アダプターカバー



■ 本体構成部品

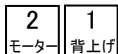
・ベースフレーム



・ボトム類(背・座・足)



・可動部フレーム



・スライドパイプ



・ボード(ヘッド、フットボード)



・サイドレール(2 本 1 組)



※3 モーターには、2 モーターへ変更する場合の下記組立部品が同封されています。



ピン小(2 本)
6*20



ピンカバー(2 個)



M8 座金(4 個)



パイプカラー(2 個)

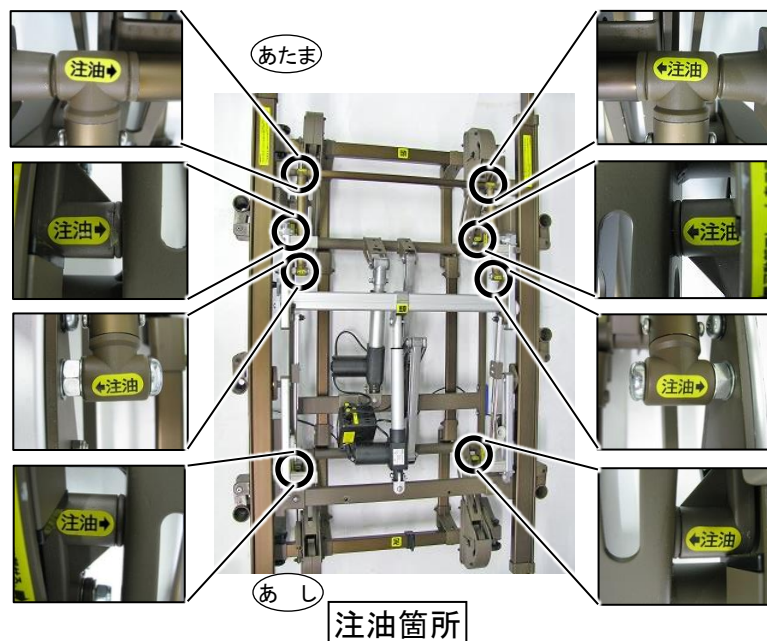


M8 ばね座金(2 個)



M8 ナット(2 個)

⑮定期点検と日常のお手入れ、故障かな？と思ったら



1. 定期点検

ベッドを安全に使用していただくために、定期的に各部のゆるみ、動作、破損の有無などを点検してください。

- ・点検項目は、21 ページの「⑨ベッドの組立て後の点検」を参照してください。
- ・左記の箇所に市販の潤滑油スプレーを適量塗布してください。
(ベースフレーム 4 ヶ所、可動部 4 ヶ所)

2. 日常のお手入れ

- ベッド本体
中性洗剤を水で薄め、やわらかい布に浸して強く絞って拭き、その後乾いた布で拭き取ってください。
- オプション
各オプションの取扱説明書に従ってください。
- マットレス
マットレスの取扱説明書に従ってください。



●お手入れの際は必ず電源プラグを抜いてください。
●直接水をかけないでください。感電やショート、故障の原因となります。



塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。

3. 故障かな？と思ったら

※修理を依頼される前に、以下の項目をお確かめください。

症状	確認	処置	参照先
手元スイッチを押してもベッドが動かない。	電源プラグは、コンセントに差し込まれていますか？	電源プラグをコンセントに差し込んでください。	—
	コンセントに電気がきていますか？	コンセントに他の電気機器のプラグを差し込んで、確認してください。	—
	手元スイッチのコネクターが外れていませんか？	手元スイッチのコネクターをアダプターの差し込み部に、確実に差し込んでください。	16 ページ
	アクチュエーターのコネクターが外れていませんか？	高さ調節・背上げ・膝上げのコネクターをアダプターの差し込み部に、確実に差し込んでください。	16 ページ(高さ) 18 ページ(背上げ) 18 ページ(膝上げ)
	ベッド周辺・可動部に障害物がありますか？	障害物を取り除き、再度操作をしてください。	—
操作したボタンと異なる場所が動く。	アクチュエーターのコネクターが正しく配線されていますか？	アクチュエーターのコネクターを正しく配線してください。	16 ページ(高さ) 18 ページ(背上げ) 18 ページ(膝上げ)

- お確かめいただいても正常に動作しない場合やその他の症状の場合はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店まで点検・修理をご依頼ください。
- 点検・修理をご依頼の際は、ベースフレームに貼られたシリアル番号もあわせてご連絡ください。

⑩保管方法

長期間ベッドを使用しない際は、下記の点にご注意ください。

- 高温・多湿・ほこりの多い場所を避け、温度や湿度変化の少ない場所に保管してください。直射日光や強い光が当たる環境に保管しないでください。
- 取扱説明書を紛失しないよう大切に保管してください。

1.組み上がった状態でベッドを保管する場合

- 背・足ボトムを水平にしてください。
- ベッドの高さを最低高さまで下げてください。
- ベッド上にはマットレス以外載せないでください。
- マットレス上には、何も載せないでください。
- ベッドは立て掛けや横倒しにせず、床に水平のまま保管してください。
- 電源プラグはコンセントから抜き、束ねて置いてください。

2.分解した状態でベッドを保管する場合

ベッドの分解は、お買い上げの販売店に依頼されることをお勧めします。

- ベッドの分解方法 31～35 ページに従って分解してください。



注意

- ・再びベッドを使用される場合は、16～20 ページに従って組立ててください。
- ・組立て後は、必ず 21 ページに従って点検を行ってください。

⑩移動方法

1.組み上がった状態でベッドを移動させる場合

- ベッド本体は、3 モーターで約 79.5kg、2 モーターで約 75.5kg、1 モーター・背上げ、1 モーター・昇降で約 73.5kg です。4 人で運んでください。
- ご利用者をベッドから降ろしてください。寝具、マットレス、サイドレールなどは外してください。
- 可動部フレームを持って移動してください。
- 手元スイッチや電源コードの破損に注意してください。



注意

- ・ヘッドボード、フットボード、サイドレール受け、スライドパイプなどは持たないでください。
- ・可動部フレームを持ち上げるとベッド高さが上がります。脚座(4ヶ所)が床から離れていることを確認してから移動してください。
- ・ベッドを持ち上げる際は水平になるように持ち上げてください。

2.分解した状態でベッドを移動する場合

ベッドの分解は、お買い上げの販売店に依頼されることをお勧めします。

- ベッドの分解方法 31～35 ページに従って分解をしてください。



注意

- ・再びベッドを使用される場合は、16～20 ページに従って組立ててください。
- ・組立て後は、必ず 21 ページに従って点検を行ってください。

⑪仕様

ベッド本体

		3 モーター	2 モーター	1 モーター (背上げ)	1 モーター (昇降)
品番		SB-3000	SB-1000	SB-2000	SB-F102
寸法	a:全幅	103cm			
	b:全長	199～209cm			
	c:脚座間の長さ	117cm			
	d:ボトムの高さ	31～62cm		30.5/36.4/42.3/ 48.2/54.1cm	31～62cm
	e:ヘッドボード高さ	36cm			
	f:フットボード高さ	36cm			
	ボトム幅	93.5cm(背、足ボトム)/ 92.5cm (座ボトム)			
	ボトム長さ	185cm			
総重量		約 79.5kg	約 75.5kg	約 73.5kg	
モーター数		3 モーター	2 モーター	1 モーター	
手元スイッチボタン数		6 個	4 個	2 個	
主な材質	ベースフレーム	・アルミ合金(アルマイト、粉体塗装) ・スチール(クロムメッキ、粉体塗装)			
	可動部フレーム	・アルミダイカスト成形品(一部粉体塗装) ・合成樹脂成形品			
	スライドパイプ	・アルミ合金(アルマイト) ・アルミダイカスト成形品(粉体塗装) ・合成樹脂成形品			
	ボトム	背ボトム	・ポリエチレン ・合成樹脂成形品 ・アルミ合金(アルマイト)		
		足ボトム	・アルミダイカスト成形品		
		座ボトム	・ポリエチレン ・合成樹脂成形品 ・スチール(粉体塗装)		
ヘッド・フットボード		・ポリエチレン ・合成樹脂成形品 ・アルミダイカスト成形品 ・スチール(粉体塗装)			
最大利用者体重 ※1		130kg			
安全動作荷重 ※2		174kg(1700N)			
最大マットレス厚み		14cm(BB-2101、BB-2102 使用時)			
背上げ	傾斜角度	0～約 70°			—
	時間	約 29 秒			
膝上げ	傾斜角度	約 22°	約 22° (背上げ膝上げ連動時)		—
	時間	約 8 秒	—		
高さ調節	調節幅	31cm		23.6cm (5.9cm 刻み 5 段階)	31cm
	時間	約 23 秒		—	約 23 秒

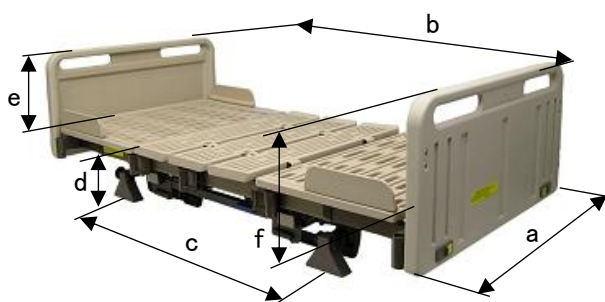
※1 最大利用者体重とマットレスやオプションを含めた重さ

※2 サイドレール使用時に適合する最大マットレス厚み

電 装 品	モーター形式	リニアアクチュエータ(DC モーター)
	電源電圧、周波数	AC100V、50/60Hz
	電源コード長さ	約 3m
	連続使用時間	約 2 分(休止時間 約 18 分)

■各部の寸法

a～f の寸法は、上記表に記載しています。



	項目	箇所
a	全幅	最大外径寸法(取付口使用時)
b	全長	最大外径寸法
c	脚座間の長さ	脚座の中心間長さ
d	ボトムの高さ	床～ボトム上面(最低高さ～最高高さ)
e	ヘッドボード高さ	ボトム上面～ヘッドボードの上端
f	フットボード高さ	ボトム上面～フットボードの上端

ウチエ株式会社 サービス係

本社/大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372
関 東 営 業 所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台 4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312
福 岡 営 業 所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北 4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵 庫 工 場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井 732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告なく変更する場合もございます。予めご了承ください。